

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第11集

AKA ZA GAI TO
赤 座 垣 外 遺 跡

長野県佐久市岩村田赤座垣外遺跡報告書

1992

佐久市教育委員会
佐久埋蔵文化財調査センター

AKA ZA GAI TO
赤 座 垣 外 遺 跡

長野県佐久市岩村田赤座垣外遺跡報告書

1992

佐 久 市 教 育 委 員 会
佐久埋蔵文化財調査センター

例 言

- 1 本書は、市道2-83号線（緊急地方道整備事業）に伴う栗毛坂遺跡群赤座垣外遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査委託者 佐久市建設部土木課 調査受託者 佐久市教育委員会
- 3 発掘調査対象地の地番および面積
赤座垣外遺跡（I KA） 長野県佐久市大字岩村田字赤座垣外3621-4他、4,749m²
- 4 調査期間
(発掘調査) 平成2年9月1日～平成2年11月27日
(整理作業) 平成3年1月8日～平成3年3月29日
(〃) 平成3年10月1日～平成4年3月27日
- 5 事務局および調査団の構成
(事務局) 佐久市教育委員会埋蔵文化財課
教 育 長 大井季夫 教育次長 小池八郎、奥原秀雄
開発公社事務局長 佐々木正泰 課長兼所長 相沢幸男、上原正秀
管 理 係 桜井牧子（係長）、東城公人、田島清巳、関口美咲（臨時）
埋蔵文化財係 相沢幸男（係長兼務）、草間芳行（係長）、高村博文、林幸彦、三石宗一、須藤隆司、小山岳夫、小林真寿、羽田野卓也、翠川泰弘、助川朋広
(調査団)
団 長 黒岩忠男（佐久考古学会副会長）
副 団 長 白倉盛雄（佐久考古学会副会長） 藤沢平治（佐久市文化財審議委員）
調査担当者 林幸彦（佐久市教員委員会） 調査主任 佐々木宗昭
調査員・調査補助員 挿益子、浅沼ノブ江、遠藤しづか、金森治代、香山優子、
小林よしみ、並木ことみ、橋詰信子、羽田野香里、星野良子、
渡辺久美子
協 力 者 掘籠因、甘利亘、磯貝はな、白井おくに、柏原松枝、小林永一、
小林和義、星野重一、丸山澄、柳沢時枝
- 6 編集・執筆は佐々木が、遺物・遺構の復元・実測・トレスは調査員・調査補助員が行った。
- 7 本調査に関するすべての資料は、佐久市教員委員会の責任下に保管されている。
また、報告書作成にあたり、下記の各氏より多大なご指導・ご助言を賜った。
白田武正、島田恵子、堤 隆、福島邦男、由井茂也

凡 例

- 1 本書では、遺構の名称について次の略号で表示した。
H→堅穴住居址 F→掘立柱建物址 D→土坑 M→溝状造構
- 2 掘図の縮尺
堅穴住居址 = 1 : 80、カマド = 1 : 40、掘立柱建物址 = 1 : 80、土坑 = 1 : 80
その他については、各遺構に示した。
- 3 『真図版の縮尺
土器・石器 1 / 4、石縁 1 / 1
- 4 出土遺物の一覧表は、一は不明、() は推定値、() は現存値とした。単位はcm、法量は
口径、底径、器高の順に記載した。
- 5 遺物胎土・土層の色調は『新版標準土色帖』の表示に基づいた。
- 6 掘図中におけるスクリーントーンは、以下のものを表す。
カマド・火床・焼土=網点(太) 土器断面・須恵器断面=網点(細)
土器内外面黒色処理=網点(太)

目 次

例 言

凡 例

目 次

挿図目次

第Ⅰ章 発掘調査の経緯

第1節 発掘調査に至る動機	1
---------------	---

第Ⅱ章 遺跡の位置と周辺遺跡

第1節 赤座垣外遺跡と周辺遺跡の分布	2
--------------------	---

第Ⅲ章 発掘調査の概要

第1節 基本層序	3
----------	---

第2節 調査された遺構	3
-------------	---

第N章 調査の記録

第1節 堅穴住居址	4
-----------	---

第2節 捩立柱建物址	8
------------	---

第3節 土坑	9
--------	---

第4節 溝状遺構	11
----------	----

第V章 調査のまとめ

挿図	14
----	----

遺構土層説明一覧	39
----------	----

遺物観察表	42
-------	----

写真図版

挿 図 目 次

第1図 赤座垣外遺跡位置図	1	第8図 H 3号住居址実測図	16
---------------	---	----------------	----

第2図 周辺遺跡分布図	2	第9図 H 3号住居址出土土器実測図（1）	16
-------------	---	-----------------------	----

第3図 赤座垣外遺跡基本層序	3	第10図 H 3号住居址出土土器実測図（2）	17
----------------	---	------------------------	----

第4図 H 1号住居址実測図	14	第11図 H 4号住居址実測図	17
----------------	----	-----------------	----

第5図 H 1号住居址出土土器実測図	15	第12図 H 4号住居址出土土器実測図（1）	17
--------------------	----	------------------------	----

第6図 H 2号住居址実測図	16	第13図 H 4号住居址出土石器実測図	17
----------------	----	---------------------	----

第7図 H 2号住居址出土土器実測図	16	第14図 H 4号住居址出土土器実測図（2）	18
--------------------	----	------------------------	----

第15図 H 5号住居址実測図	18	第52図 H18号住居址出土土器実測図	29
第16図 H 5号住居址出土土器実測図	18	第53図 F 4号・F 5号掘立柱建物址実測図	29
第17図 H 6号住居址実測図	19	第54図 F 1号掘立柱建物址実測図	30
第18図 H 6号住居址出土土器実測図	19	第55図 F 3号掘立柱建物址実測図	30
第19図 H 7号住居址実測図	19	第56図 F 2号掘立柱建物址実測図	30
第20図 H 7号住居址出土土器実測図	20	第57図 D 1号土坑実測図	31
第21図 H 7号住居址出土石器実測図	20	第58図 D 2号土坑実測図	31
第22図 H 8号住居址実測図	20	第59図 D 3号土坑実測図	31
第23図 H 8号住居址出土土器実測図	20	第60図 D 1号土坑出土土器実測図	31
第24図 H 9号住居址実測図	21	第61図 D 4号土坑実測図	31
第25図 H10号住居址出土石器実測図	21	第62図 D 5号土坑実測図	31
第26図 H10号住居址実測図	21	第63図 D 6号土坑実測図	31
第27図 H10号住居址出土土器実測図(1)	21	第64図 D 5号土坑出土石器実測図	31
第28図 H10号住居址カマド実測図	22	第65図 D 6号土坑出土土器実測図(1)	31
第29図 H10号住居址出土土器実測図(2)	22	第66図 D 6号土坑出土土器実測図(2)	32
第30図 H10号住居址出土土器実測図(3)	23	第67図 D 7号土坑実測図	32
第31図 H11号住居址実測図	23	第68図 D 7号土坑出土土器実測図	32
第32図 H11号住居址カマド実測図	23	第69図 D 8号土坑実測図	32
第33図 H11号住居址出土土器実測図	23	第70図 D 8号土坑出土土器実測図	32
第34図 H12号住居址実測図	24	第71図 D 9号土坑実測図	32
第35図 H12号住居址カマド実測図	24	第72図 D 10号土坑実測図	33
第36図 H12号住居址出土土器実測図	25	第73図 D 11号・D 12号土坑実測図	33
第37図 H13号住居址実測図	25	第74図 D 13号土坑実測図	33
第38図 H13号住居址カマド実測図	25	第75図 D 14号土坑実測図	33
第39図 H13号住居址旧カマド実測図	25	第76図 M 1号溝状遺構実測図	33
第40図 H13号住居址出土土器実測図	26	第77図 M 2号溝状遺構実測図	34
第41図 H14号住居址実測図	26	第78図 M 3号・M 4号溝状遺構実測図	34
第42図 H15号住居址実測図	26	第79図 M 5号溝状遺構実測図	35
第43図 H15号住居址出土土器実測図	26	第80図 M 6号溝状遺構出土土器実測図	35
第44図 H16号住居址実測図	27	第81図 M 6号・M 7号溝状遺構実測図	35
第45図 H16号住居址出土土器実測図	27	第82図 M 8号・M 9号溝状遺構実測図	36
第46図 H16号住居址出土石器実測図	27	第83図 M 10号溝状遺構実測図	36
第47図 H17号A住居址実測図	27	第84図 M 12号溝状遺構実測図	36
第48図 H17号B住居址実測図	28	第85図 M 11号溝状遺構出土土器実測図	36
第49図 H17号B住居址出土土器実測図	28	第86図 M 11号溝状遺構実測図	37
第50図 H17号B住居址カマド実測図	28	第87図 M 13号溝状遺構実測図	37
第51図 H18号住居址実測図	29	第88図 トレンチ・グリッド出土遺物実測図	38

第Ⅰ章 発掘調査の経緯

第1節 発掘調査に至る動機

赤座垣外遺跡は、佐久市の北部の栗毛坂遺跡群南西部にあり、標高735m内外を測る。

付近の六供後遺跡、芝間遺跡、柳田遺跡、上久保田向遺跡、曾根新城遺跡等が佐久市教育委員会佐久埋蔵文化財調査センターにより発掘調査され、縄文・古墳・奈良・平安時代の遺構が検出されて、縄文時代早期をはじめとして多くの土器や石器等が出土した。

また、長野県埋蔵文化財センターが上信越高速道路建設に伴い、栗毛坂遺跡A・B・C・Dを発掘調査し網編・弥生・古墳・奈良・平安時代・中世の遺構が検出され、遺物が出土している。

この度、佐久市土木課により市道2-83号線の道路改良が行われることになり、遺跡の記録保存が必要となった。市土木課から埋蔵文化財課・佐久埋蔵文化財調査センターが依頼を受け緊急発掘調査を実施するはこびとなった。



第1図 赤堀坂外道路の位置（1:50,000国土地理院地形図による）

第Ⅱ章 遺跡の位置と周辺遺跡

第1節 赤座垣外遺跡と周辺遺跡の分布

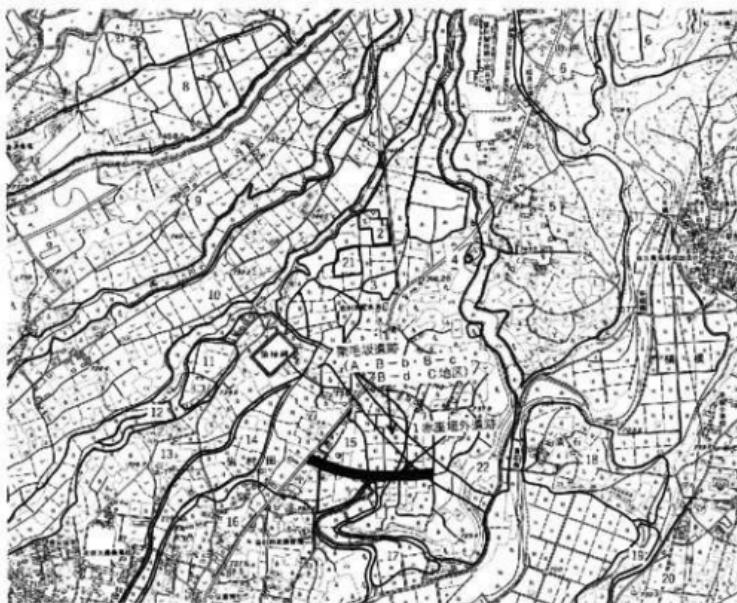


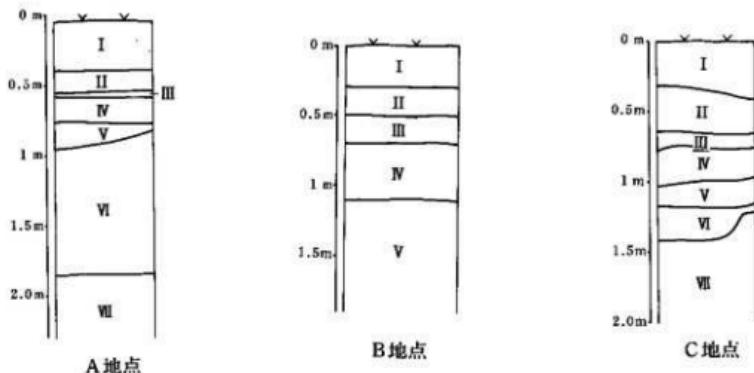
图 2 国 道道路分布图 (1 : 20,000)

第1表 周辺道路一覧表

番	遺跡名	所在地	立地	時代				
				縄	新	古	晩	早
1	赤堀郊外遺跡	岩村田字赤堀郊外		○	○	○	○	○
2	上曾根遺跡	岩村田字上曾根	台地		○	○	○	
3	中曾根遺跡	岩村田字中曾根	山					
4	鶴岡洋塚・鬼塚	岩村田字鶴岡洋塚	山					
5	鍍歌道跡群	小田井字鍍歌道	山		○	○	○	○
6	小金井遺跡群	小田井字西鍍歌道	丘		○	○	○	○
7	曾根城遺跡	小田井字曾根城	台地	○	○	○	○	
8	阿賀川遺跡群	箕土呂字阿賀川	山		○	○	○	○
9	芝宮遺跡群	箕土呂字芝宮	山		○	○	○	○
10	美津川遺跡群	磐石・危	山	○	○	○	○	○
11	曾根新城跡	岩村田字下穴穴	台地		○			
12	前城遺跡	岩村田字新成	低地		○	○	○	○
13	杷杷坂遺跡群	岩村田字杷杷坂	台地		○	○	○	○
14	中久保田遺跡	岩村田字中久保田	山		○	○	○	○
15	西赤岸遺跡	岩村田字西赤岸	山		○	○	○	○
16	岩村田遺跡群	岩村田字六块坂	山		○	○	○	○
17	上塔子遺跡	岩村田字上塔子	山					○
18	鏡石遺跡	平尾字鏡石・中尾原	低地		○	○	○	○
19	麻谷遺跡	上平尾字麻谷	台地		○	○	○	○
20	西久保佐藤跡	上平尾字西久保佐藤	丘	○	○	○	○	○
21	西曾根遺跡	岩村田字西曾根	台地					
22	芝尾遺跡	岩村田字芝尾	山		○	○	○	○

第Ⅲ章 発掘調査の概要

第1節 基本層序



第3図 赤塚境外遺跡基本層序

付図に示した調査区の三ヶ所（A、B、C地点）において土層観察を行った。その結果A地点での層序Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ層、並びに、B地点でのⅡ・Ⅲ層はいずれも過去における河川の氾濫を示すものであった。しかし、A地点で確認された河川層（Ⅱ～Ⅳ層）は、当地点で検出された中世城跡に伴うと考えられる「堀」の上部層であることが認められ、中世以後の河川層であることが看取された。一方B地点で確認された河川層（Ⅱ・Ⅲ層）は、H1号住居址に切られていることから平安時代以前の河川層であることが認められた。

第2節 調査された遺構

検出された遺構は、堅穴住居址19棟、掘立柱建物址5棟、土坑14基、溝状遺構13基であった。

19棟の堅穴住居址を時代別にみると、古墳時代後期が4棟、奈良時代3棟、平安時代10棟、時期不明が2棟であり、古墳時代～平安時代に展開された遺跡であることが判明した。

掘立柱建物址は、5棟が検出された。しかし、いずれも正確な時期決定はなし得なかった。

上坑は14基が検出され、D8号・D9号土坑は、粘土の採掘坑とおもわれる。また、D6号・D7号土坑は、第V章でも述べてあるように「畜獣埋葬」の形態をしめしている。

溝状遺構は13基が検出され、古墳時代後期～中世とおもわれる溝が検出された。このうちのM13号溝状遺構は、大井城跡に関する堀と考えられようか。

第Ⅳ章 調査の記録

第1節 堅穴住居址

H 1号住居址（第4・5図）

形状 グリッドおー6・7より検出された。住居址の南西コーナーは、排水溝により、中央部付近は果樹木に破壊されている。東西辺5.1m、南北辺4.5mの隅丸方形を呈する。

面積 22.4m² 方位 N-12°-W
床面 貼り床状で堅い。特にカマド周辺部は堅敏である。東側床面には焼土の残痕が認められた。ビットは5個確認され、内P₄は入口部施設によるものと思われる。確認面からの壁高は25~40cmを測る。カマドは北壁中央に設置される。残存状況は希薄であった。

遺物 主にカマド周辺より須恵器壺・壺・上部器壺・甕類が出土した。

本址の所産期は出土遺物より平安時代と思われる。

H 2号住居址（第6・7図）

形状 グリッドかー10より検出された。住居址の南壁は耕作により削平されている。東西辺3.1m、南北辺3.7mの隅丸長方形を呈する。

面積 10.3m² 方位 N-13°-W
床面 比較的軟弱であった。ビットは4個確認され、確認面からの壁高は約10cmを測る。カマドは東壁の南端部に設置される。残存状況は希薄であった。当部周辺にはカマド構築材と思われる軽石、安山岩の石が散在する。

遺物 土師器壺・甕・須恵器壺が出土した。

本址の所産期は出土遺物より平安時代であろう。

H 3号住居址（第8・9・10図）

形状 グリッドかー11より検出された。本址の壁部残存は住居の北隅のみで、他は耕作等により削平されている。床面の残存形状から東西辺約3.2m、南北辺約2.8mの隅丸方形と推察される。面積 8.9 m² 方位 N-22°-W
床面 貼り床状で比較的軟弱である。ビットは7個確認された。確認面からの壁高は北隅のみが計測でき約10cmである。カマドの残存状況は極めて希薄である。北壁中央部に煙道と思われる張り出し、焼土の残存などからカマドは当部に設置されたことが考えられる。遺物 出土遺物は、土師器壺・高台付壺・甕等が出土した。

本址の所産期は出土遺物より平安時代である。

H 4号住居址（第11・12・13・14図）

形状 グリッドきー12・13より検出された。住居址の大半は耕作等により削平され、北壁及び西壁の一部が残存する。規模等面積、方位は不明である。床面 残存する床面は、比較的堅く貼り床状であった。ビットは3個確認された。壁高は6~14cmを測る。カマドは北壁中央に設置される。残存状況は希薄であった。遺物 カマド内、その周辺より土師器壺・甕・須恵器壺等が出土した。

本址の所産期は出土遺物より平安時代である。

る。

H 5 号住居址（第15・16図）

形状 グリッドき-13より検出され、H 4 号・H 6 号住居址と重複関係にある。本址の東壁部は排水溝及びH 6 号址に破壊され、西南コーナーはH 4 号址に破壊されている。規模等面積、方位は不明。床面 貼り床状で軟弱。ピットは確認されなかった。残存壁高は15~25cmを測る。カマドの位置等は不明。
遺物 床面より土師器坏・甕が出土した。
本址の所産期は、出土遺物・H 4 号址との重複関係より古墳時代後期である。

H 6 号住居址（第17・18図）

形状 グリッドき-13より検出された。H 5 号址と重複関係にあり、本址はH 5 号址の東側一部を破壊し、本址の西側は排水溝により破壊されている。東西辺約3.5m、南北辺約3.0mの隅丸長方形を呈する。面積 13.5 m² 方位 N-14° - W 床面 比較的軟弱であったが、北東コーナー付近は堅いことが認められた。ピットは検出されない。確認面からの壁高は8~23cmを測る。カマドは検出されなかった。
遺物 床面より土師器坏・甕・覆土中より須恵器坏が出土した。

本址の所産期は出土遺物より古墳時代後期である。

H 7 号住居址（第19・20図）

形状 グリッドか-13より検出された。本址の南東部はH 8・D 5 号址に破壊され、更に暗渠排水が南北に横断する。又、住居址の北壁部は調査区域外である。規模等面積、方位は不明である。床面 貼り床状で軟弱。

ピットは7個確認され、P₁・P₂は礎石を有する。壁高は、0~16cmを測る。カマドの位置等は不明である。
遺物 床面より須恵器の坏・S;礎石の直下より磨製石斧、覆土中より須恵器長頸壺・突帯付四耳壺・土師器坏・甕が出土した。

本址の所産期は出土遺物より平安時代である。

H 8 号住居址（第21・22・23図）

形状 グリッドか・き-13より検出された。本址はD 5 号址と重複し、住居址の東側部は破壊されている。東西辺3.05m、南北辺3.5mの隅丸長方形を呈する。面積 8.4m² 方位 N-14° - W 床面 貼り床状で軟弱。ピットは3個確認された。壁高は0~約10cmであった。カマドの位置等は不明である。
遺物 床面の直上部より土師器坏、覆土中より土師器甕・須恵器坏が出土した。

本址の所産期は出土遺物・D 5 号土坑との重複関係から平安時代であろう。

H 9 号住居址（第24図）

形状 グリッドき-14より検出された。住居址の大半は耕作による削平、暗渠排水、更にはD 7 号土坑により破壊されている。規模等面積、方位は不明である。床面 軟弱であった。ピットは1個確認された。壁高は0~23cmであった。カマドの位置等は不明である。
遺物 図示できた遺物はなく、覆土中より土師器甕片が出土した。本址の所産期は判明でき得る遺物等がなく判然としないが、D 7 号土坑（平安時代）に破壊される点より平安時代以前の住居址であろう。

H10号住居址（第25・26・27・28・29・30図）

形状 グリッドか・き-14より検出された。

本址はH11号・D8号土坑と重複し、南隅は暗渠排水に破壊される。H11号住居址の西側部を破壊しているが、D8号址との関係は判然としなかった。東西辺3.2m、南北辺3.6mの隅丸長方形を呈する。面積 11.7m²

方位 N-30°-W 床面 貼り床状で比較的堅い。ピットは東壁面の直下に5個、西壁面の直下に6個いずれも径20cm前後の小規模のものが配列される。又、東西の壁面中央直下には、約60×20×5cmを測る壁溝状の掘り込みが認められ、南壁の直下に入口部の施設と思われる掘り込みが確認された。確認面からの壁高は11~50cmを測る。カマドは北壁中央に設置される。遺物 火床部より須恵器甕・土師器甕、住居址床面より須恵器甕・高台付杯・土師器甕等が出土した。

本址の所産期は出土遺物・H11号住居址との重複関係から平安時代である。

H11号住居址（第31・32・33図）

形状 グリッドか・き-14・15より検出された。本址はH10号住居址と重複し、西側を破壊される。南側は暗渠排水が横断し、北側は調査区域外である。規模等面積、方位は不明である。床面 比較的軟弱であったが、カマド周辺は堅い。ピットは4個確認された。

壁高は7~30cmで、東壁直下に周溝が認められる。カマドは北壁中央に設置される。

遺物 土師器甕・甕、須恵器甕が出土した。

本址の所産期は、出土遺物・H10号住居址との重複関係より古墳時代後期である。

H12号住居址（第34・35・36図）

形状 グリッドか・き-15より検出された。

本址はD9・13号土坑に破壊され、カマド付近を暗渠排水が横断する。又、耕作等により著しく削平されているが、床面は希薄ながら残存する。東西辺5.2m、南北辺5.1mの隅丸正方形を呈するものと推測される。

面積 24.0m² 方位 N-30°-W

床面 比較的軟弱である。ピットは5個確認された。確認面からの壁高は0~35cmであった。カマドは北壁中央に設置される。

遺物 須恵器甕・甕、土師器甕が出土した。

本址の所産期は出土遺物より奈良時代である。

H13号住居址（第37・38・39・40図）

形状 グリッドか・き-15より検出された。本址の南側一部はD11・12号土坑に破壊される。

東西辺3.85m、南北辺3.65mの隅丸方形を呈する。面積 13.5m² 方位 N-18°-W
床面 貼り床状で堅緻。ピットは5個確認され、P₁は貯蔵穴と思われる。壁高は0~16cmを測る。カマドは北壁・東壁の各中央部に設置されていた。東壁カマドは若干の焼土が認められたが、袖部等の残存は認められなかった。遺物 主にカマド内、その周辺より須恵器甕が4点（内2点完形）、土師器の甕・甕が出土した。

本址は出土遺物より平安時代である。

H14号住居址（第41図）

形状 グリッドか・き-16より検出された。住居址の北隅の一部の調査で他は調査区域外である。本址内をM5号溝が横断する。規模等面

積、方位は不明である。床面 軟らかい。ビットは1個確認された。確認面からの壁高は12~18cmである。壁面の直下には壁溝が認められる。カマドはM5号溝により破壊されているが、北壁の中央部に若干の残存が認められる。遺物 土師器甕、須恵器环の小破片が出土した。所産期は平安時代と思われる。

H15号住居址（第42・43図）

形状 グリッドき・く-16より検出された。住居址の北側の一部の調査で、外は調査区域外となる。本址はH16号住居址と重複している。規模等面積、方位は不明。床面 軟弱。ビットは確認できなかった。壁高は3~8cmであった。カマドの位置等は不明である。

遺物 覆土中より須恵器环・甕、上師器甕が出土したが小破片であり、時期決定はできなかった。

H16号住居址（第44・45・46図）

形状 グリッドき・く-16・17より検出された。住居址の北側の調査で、外は調査区域外となる。本址はH15号住居址と重複する。規模等面積、方位は不明。床面 軟弱。ビットは16個確認された。壁高は12~24cmを測る。東壁面直下の一部に壁溝が認められた。カマドは北壁中央に設置される。残存状態は極めて希薄である。遺物 床面の直上より土師器环・甕・台石状の石が出土した。時期決定は、いずれも小破片でありでき得なかった。

H17号B住居址（第48・49・50図）

形状 グリッドき・く-21・22より検出された。住居址の南側は耕作等で削平され、又、M3・4号溝が切って横断している。本址は

H17号A住居址の建替住居址（増築）であることが認められた。東西辺4.2m、南北辺4.9mの隅丸長方形を呈する。面積 18.7m² 方位 N-2°-W 床面 貼り床状で堅緻である。本床をはぎ住居址の掘り方面を観察した結果、H17号A住居址（奈良時代初頭）の床面、及び壁が確認された。このため本住居址をH17号B住居址と名命した。ビットは4個確認された。壁高は0~16cmを測る。カマドは北壁中央に設置される。本址の床面下には「Y字状」を呈する溝が床面を掘り抜き、東北コーナーより南西コーナーを切って配されている。当部分の床面は堅く、叩き絞め状である。住居址との共判関係は認められたが性格等は判然としなかった。遺物 土師器环・甕、須恵器环・甕が出土した。

本址の所産期は出土遺物より奈良時代であろう。

H17号A住居址（第47図）

形状 グリッドき・く-21・22より確認された。H17号B住居址の建替え以前の住居址と思われる。東西辺3.7m、南北辺4.6mの隅丸長方形を呈し、H17号B住居址より一廻り小規模となる。面積 16.2m² 方位 N 床面 貼り床状で堅緻である。ビットは5個確認された。壁高は0~8cmである。カマドの位置等は明瞭ではないが、北壁中央部に設置されたものと推測される。遺物 土師器甕底部等の小破片が数点出土した。図示できる遺物はない。本址の所産期は出土した遺物・H17号B住居址との関係から奈良時代初頭と考えられる。

H18号住居址（第51・52図）

形状 グリッドき-22より検出された。住居址の南側一部の調査である。外は調査区域外となる。規模等面積、方位は不明。
床面 貼り床状で堅致である。ピットは2個確認され、南壁部のピットは入口施設に伴うものと推測される。壁高は9~20cmを測る。カマドの位置等は不明である。遺物 東側の床面より須恵器甕・坏・土師器甕・坏が出士した。図示できた遺物はなかった。本址の所産期は、出土した遺物片より奈良時代~平安時代であることが考えられる。

第2節 掘立柱建物址

F1号掘立柱建物址（第54図）

形態・規模 グリッドお・か-7より検出された。本址の北寄りにH1号住居址が、南寄りにはM1号溝が隣接する。他遺構との重複関係は排水溝によりP₁が破壊される。規模は桁行2.8m・梁間2.4m、形態は桁行2間・梁間1間の長方形である。方位 N-77°-Eを指す。柱穴 円形を基調とし、直径50~70cm、深さ45~72cmである。大半のピット底面は平坦であるが、柱部分の底面は若干くぼむ。遺物 遺物は出土せず本址の帰属時期は不明である。しかし、隣接するH1号住居址に伴うことを推察すると平安時代であることが考えられる。

F2号掘立柱建物址（第56図）

形態・規模 グリッドえ・お-6より検出された。本址の南寄りにはH1号住居址が隣接する。他遺構との重複関係は、D1号土坑が

P₁を、D2号土坑がP₁・P₂を破壊する。規模・形態は梁間が3間で5.4mを測る。北側が不明であるが、長方形と思われる。

方位 N-85°-Eを指す。柱穴 円形・隅丸長方形を基調とし直径64~117cm、深さ48~60cmであった。大半のピット底面は平坦であるが、柱部分の底面は若干くぼむ。

遺物 遺物は出土せず本址の帰属時期は不明であるが、D1号址との切合関係から平安時代以前と判明した。

F3号掘立柱建物址（第55図）

形態・規模 グリッドき-17より検出された。本址の東にはF4号掘立柱建物址が隣接し、西寄りにはD14号土坑が位置する。規模は桁行3.5m・梁間2.6m形態は桁行2間・梁間2間で長方形を呈している。方位 N-68°-Eを指す。柱穴 円形を基調とし、直径25~45cm、深さ17~30cmである。ピットの底面は平坦を呈するものが多い。本址の帰属時期は出土遺物等がなく不明である。

F4号掘立柱建物址（第53図）

形態・規模 グリッドき-17・18より検出された。本址の北側は調査区域外となる。西にF3号掘立柱建物址が隣接する。検出されたピットより、形態は梁間2間で3.8mを測る。北側が不明であるが、長方形を呈すると思われる。方位 N-18°-W 柱穴 円形を基調とし、直径30~60cm、深さ15~50cmである。ピット底面は平坦を呈するものが多い。本址の帰属時期は出土遺物等がなく不明である。

F5号掘立柱建物址（第53図）

グリッドきー17・18より検出され、F 4号掘立柱建物址と同位置に認められた。規模は桁行3.8m・梁間4.4m、形態は桁行1間・梁間1間で方形を呈している。柱穴 円形を基調とし、直径35~50cm、深さ35~40cmである。本址の帰属時期は出土遺物等がなく不明。

第3節 土 坑

D 1号土坑（第57・60図）

グリッドきー6より検出された。本址はF 2号址と重複関係にあり、F 2号址とP₁を破壊している。形態 やや歪んだ隅丸方形を呈し長径126cm、短径110cmで、深さ125cmを測る。断面形状は逆台形で底部面は平坦をなす。遺物 底部面より図示された須恵器杯がほぼ完形で出土した。本址の帰属時期は出土遺物より平安時代である。

D 2号土坑（第58図）

グリッドおー6より検出され、H 1号住居址が南に隣接する。本址はF 2号と重複関係にあり、P₁・P₂を破壊する。形態 隅丸長方形を呈し、長径135cm、短径70cmで、深さ100cmを測る。断面形状は確認面下70cmの所で平坦な第1段を形成し、更に30cmの深さで第2段を形成している。遺物 先述した第2段の底面より安山岩の石が確認されたが性格等は不明瞭である。本址の帰属時期は出土遺物がなく不明。しかし、D 1号土坑とF 2号掘立柱建物址との重複関係から平安時代以後と推察した。

D 3号土坑（第59図）

グリッドおー7から検出された。本址はH 1

号住居址に破壊されている。形態 楕円形を呈すると思われる。深さ約45cmで、底部面より約5cm浮いて炭化材が検出されたが性格等は不明瞭であった。遺物 出土遺物がなく本址の帰属時期は不明であるが、H 1号住居址との関係より推し、平安時代以後であろう。

D 4号土坑（第61図）

グリッドきー12より検出された。本址はH 4号住居址と重複し、床面一部を破壊する。形態 楕円形を呈し、長径120cm、短径90cmで、深さ45cmを測る。断面形状は逆台形で底面は平坦をなす。遺物 出土遺物がなく本址の帰属時期は不明だが、H 4号住居址との切り合関係から平安時代以後であろう。

D 5号土坑（第62・64図）

グリッドかー13から検出された。本址はH 7・H 8号住居址と重複し、H 8号址を切り、H 8号址はH 7号址を切っている。

形態 隅丸長方形を呈し、長径210cm、短径150cmで深さ20~30cmを測る。断面形状は逆台形で、底面は平坦である。遺物 出土遺物がなく帰属時期は不明。しかし、上記の切り合関係より中世と推測する。

D 6号土坑（第63・65・66図）

グリッドきー14から検出された。本址は暗渠排水に一部破壊される。形態 円形を呈すると推され、長径3.0m、短径2.5mと推測される。深さは85cmを測る。断面形状はすり鉢状で、確認面下60cmで第1段を形成し、更に約20cmの深さで第2段を形成する。覆土は人骨埋土である。遺物 第2段が形成される

底面より、須恵器坏・甕、土師器坏、安山岩の石等が出土した。本址の形態、出土遺物より祭祀的な要素を含む遺構であることが考えられる。帰属時期は9世紀代であろう。

D 7号土坑（第67・68図）

グリッドき-14から検出された。本址の東側は一部暗渠排水に破壊される。形態 円形を呈し、長径225cm、短径220cmで、深さ100cmを測る。断面形状はすり鉢状で、確認面下80cmで第1段を形成し、更に約20cmの深さで第2段を形成する。覆土は人為埋土である。

遺物 第2段の底部面より約10cm程浮いた覆土中より須恵器坏・甕が出土した。本址の形態、出土遺物より祭祀的な要素を含む遺構であることが考えられる。帰属時期はD 6号土坑と同じく9世紀代であろう。

D 8号土坑（第69・70図）

グリッドか-14より検出した。本址はH10号住居址と重複関係をなすが、明確な切り合い関係は把握できなかった。形態 不正楕円形を呈し、長径180cm、短径100cm、深さ45cmを測る。橙色土を主とする粘土層、また、底部面・壁面部の極めて著しい凹凸等の状況より、本遺構は「粘土探掘坑」であることが認められた。遺物 出土遺物と重複関係より奈良時代以後と考えられる。

D 9号土坑（第71図）

グリッドき-15より検出された。本址はH12号住居址と重複関係をなし、H12号址を切っている。本址の東側一部は攪乱により破壊されている。形態 不正楕円形をなし、長径230cm、短径140cmで、深さ35cmを測る。D 8

号土坑と同じく、調査時における層序、また、底部面・壁面部の極めて著しい凹凸の状況より、本遺構は「粘土探掘坑」であることが認められた。遺物 出土遺物がなく本址の時期等は不明である。

D 10号土坑（第72図）

グリッドき-15より検出された。本址の東側にはH13号住居址が接する。形態 円形に近い梢円形をなし、西側の壁面はややオーバーハングしている。長径120cm、短径105cmで、深さ40cmを測る。底部は凹面をなす。遺物 出土遺物がなく本址の帰属時期は不明。

D 11・12号土坑（第73図）

グリッドき-15より検出された。D 11・12号土坑は重複関係をなすが、両址の新旧関係は判然としなかった。また、D 12号土坑はH13号住居址と切り合い、住居址を切っている。形態 D 11号址は長径40cm、短径35cmで、深さ25cmの円形を呈す。D 12号土坑は長径90cm、短径70cmで、深さ23cmの梢円形を呈す。

遺物 出土遺物がなく帰属時期は不明。しかし、H13号住居址との切り合いより平安時代以後であることが認められる。

D 13号土坑（第74図）

グリッドき-16より検出された。本址はH13号東側壁部を切っている。形態 不正方形を呈し、長径160cm、短径150cmで、深さ32cmを測る。底面はやや凹凸となっている。

遺物 出土遺物がなく本址の帰属時期は不明。

D 14号土坑（第75図）

グリッドき-16より検出された。形態 長方形を呈し、長径235cm、短径95cmで、深さ

50cmを測る。本址の西側は比較的平坦なテラスを有し、西側部は舟底状に50cmの深さで掘りくぼめられている。遺物 出土遺物がなく本址の帰属時期は不明である。

第4節 溝状遺構

M1号溝状遺構（第76図）

グリッドか-7～10にかけて東西に走り、か-10地点で南北に向きを変えて連続している。形状 幅は平均して2m前後で、深さ25cm前後を測る。底面は比較的平坦をなし、叩き絞め状である。遺物 須恵器壺・甕・土師器壺・甕が出土した。本址の帰属時期は平安時代と考えられる。

M2号溝状遺構（第77図）

グリッドか-9・10より検出された。本址は調査区を南北に横断し、南北側は調査区域外となる。グリッドか-9地点でM1号溝と重複し本址が切られる。形状 幅は平均して1m前後で、深さ50cm前後を測る。底部は比較的平坦をなす。遺物 出土遺物はなく帰属時期は不明であるが、M1号址との重複関係から平安時代以後であろう。

M3・4号溝状遺構（第78図）

グリッドく-20～22より検出された。両址は東西を走る溝であり、H17号址南壁部を切りM6・7号の各址を切っている。形状 両址は同一遺構の可能性もあり得るが、遺構底面の深さが10cm前後違うことが認められた。このため確認面より10cm前後と比較的浅い掘り込みを有する溝を「M1号」とし、確認面より約20cm前後と深い掘り込みが認められる

溝を「M2号」とした。M3・4号ともに幅40cm前後で、断面形状は舟型を呈する。遺物 土師器甕がM3号址より出土したが、小破片で本址の時期決定はなし得ない。しかし、H17号址との重複関係より奈良時代以後であろう。

M5号溝状遺構（第79図）

グリッドき-15より検出され、H14号住居址を切っている。形状 幅は平均して約50cm前後を測る。確認面よりの深さ15cm前後を測る。底面は平坦をなし、軟弱。遺物 出土遺物がなく時期決定は困難であるが、H14号址との重複関係より、平安時代以後であろう。

M6・7号溝状遺構（第80・81図）

グリッドき・く-20・21より検出された。M6号址は調査区南北に横断する溝で、M7・3・4の各溝に切られる。形状 幅は平均して1m前後で、深さ30cm前後を測る。断面形状は逆台形をなし、底面・側面ともに堅緻である。遺物 堀の内式土器が検出されたことより縄文中期後半であろう。

M7号址は、M3・4号址に切られ、M6号址を切っている。形状 幅は平均して40cm前後で、深さ25cm前後を測る。断面形状は「U字型」を呈する。遺物 出土遺物はなく時期決定は明確でないが、M3・4号溝との重複関係より奈良時代以前であることが推される。

M8・9号溝状遺構（第82図）

グリッドき-18より検出された。両址は南北にはば平行して走る溝で、北側は調査区域外となる。形状 M8・9号溝共に、幅30cm

前後で、深さはM 8号が15cm、M 9号址が20cm前後を測る。断面形状はM 8・9号址共に逆台形を呈する。遺物 出土遺物がなく両址の帰属時期は不明。

M10号溝状遺構（第83図）

グリッドき-16より検出された。本遺構はH 15号址を切り、H 16号址に切られている。

形状 幅の平均は70cm前後で、深さ15cm前後を測る。底面・側面部は軟弱である。

遺物 出土遺物はなく、本址の時期決定は困難であるが、住居址との重複関係より奈良時代を下限とし、上限は平安時代であろう。

M11号溝状遺構（第85・86図）

Cトレンチ内より検出され東西に走る溝である。形状 幅約2.3m、深さ約60cmを測り、底面は凹凸面を呈する。各層に砂・礫が混在する。遺物 須恵器窯の小破片が数点出土

したが図示でき得なかった。

M12号溝状遺構（第84図）

A-2トレンチ内より検出され南北に走る溝である。形状 幅は約1.1m前後で、深さ約30cmを測る。底面は平坦。遺物 出土遺物がなく時期決定は困難である。

M13号溝状遺構（第87図）

グリッドう・え-4から検出され、第V章に記した南北に走る中世城跡の「堀」であろう。形状 幅は約7m前後で深さ1.7m前後を測る。確認面下約1.4mでテラス状に第1段が形成され、更に、約30cmの深さで第2段を形成する。最下層の第6層は、砂・礫が多量に堆積していた。一時期には川の流れがあったと思われる。遺物 出土遺物がなく明確な時期決定はできないが、13~16世紀代のものと思われる。

第V章 調査のまとめ

赤座垣外遺跡から検出された遺構は、堅穴住居址19棟、掘立柱建物址5棟、土坑が14基、溝状遺構が13条であった。これらの各遺構の多くは耕作等により削平され、残存状況は薄かった。

堅穴住居址 19棟の住居址を時代別に分けると古墳時代後期が4棟（H 5・6・9・11）、奈良時代3棟（H 12・17A・17B）、平安時代10棟（H 1・2・3・4・7・8・10・13・14・18）、不明2棟（H 15・16）であり、古墳時代後期～平安時代に展開された遺跡であることが認められた。

これら検出された遺構の分布状況をみると興味深いことが窺われた。旧状の地形は調査区のはば中央付近で、南東に向うなだらかな傾斜地が約30m程続き、そこから東側は低地形となり、西側は平坦となっている。今回検出された19棟の大多数は「なだらかな傾斜地」に集中し、かつ、重複関係をもつものが多いことが認められた。

掘立柱建物址 5棟が検出され、F 1号掘立柱建物址とH 1号住居址は、共時的に存在した可能性があり得る。同様な思考はF 2号址とH 1号址についてもなされようが、F 2号址はD 1号

土坑（平安時代）に破壊されており、H1号址とは若干の時間的な差が認められ、共時的な存在は少ないとと思われる。

土坑 14基が検出され、D8・9号土坑は第3節で述べたように「粘土の採掘坑」であろう。

また、D6・7号土坑（9世紀代）の示す形態と状況は、佐久市安原池畠に所在する池畠遺跡第1号土坑に酷似しており、下記の類似点から農耕儀礼に関わる習俗の営みがなされたと推される「畜獣埋葬」^{註1}の土坑であることが推察できる。

池畠遺跡第1号土坑

- 1) 形態 3.4mの4円を呈し、深さ1.4m。
断面形状は桶鉢状で、下部面は1段落ちこむ。
- 2) 遺物 馬・牛の頭骨・下頸骨・頸椎骨、牛の距骨・踵骨・足根骨、土器器坏・壺・壺、30cm大の石が数個出土した。
- 3) 覆土 人為的な堆土の様子が窺われる。

赤座垣外遺跡D6・7号土坑

- 1) 形態 D6号土坑は径3.0mの円形で、深さ85cm。断面形状は桶鉢状で、下部面は約20cm落ちこむ。D7号土坑は径2.2mの円形で、深さ約1m。断面形状はD6号と同形態を示す。
- 2) 遺物 D6・7号ともに須恵器壺・壺・20cm大の石が数個検出された。
- 3) 覆土 土層から人為的堆土と認められる。

このように今回調査をした赤座垣外遺跡D6・7号土坑からは、獸骨こそ検出されなかったものの1～3の酷似する点より、両土坑は畜獣埋葬を示唆するものであった。

溝状遺構 第4節で述べたように、13基が検出され、古墳時代後期～中世とみなされる溝が検出された。このうちM13号溝状遺構については、下記する点より中世城郭に伴う「堀」であることが窺われた。

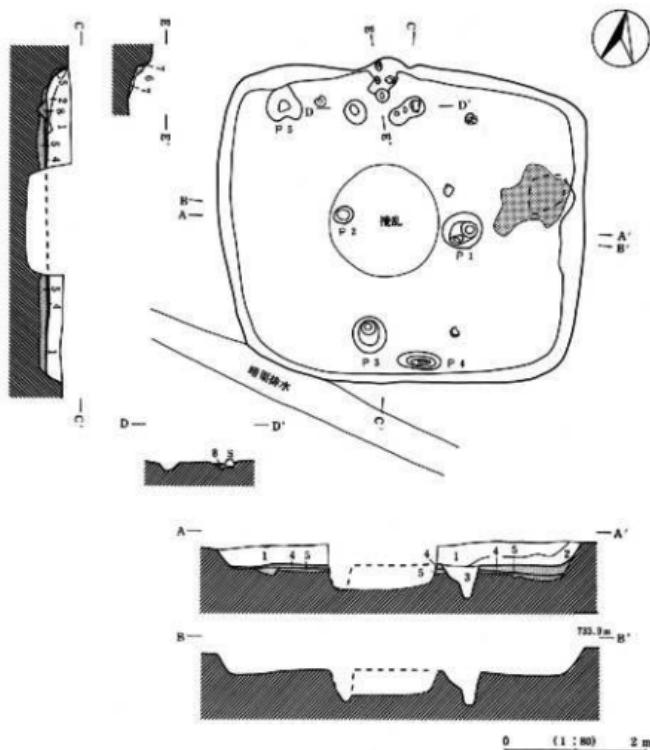
本調査地から約700m南の位置に石並城がある。そして、この城跡に隣接した南側は王城跡、更に、黒岩城跡が所在する。この一連をなす三つの城跡を通称「大井城」と称し、このうち黒岩城・王城跡の一部は過年調査が行われ^{註2}、13～16世紀代に比定される遺物が出土した。また、調査地の南約150mには六供後遺跡、石並城跡が所在し、昭和61年度に調査が行われた^{註3}。この際、六供後遺跡の調査では、幅6m・深さ1.6mの堀が検出されている。このような状況から本溝状遺構も石並城（大井城跡）に関係する堀であることが窺われた。

註1 羽毛田伸博 1986 「第N章、第5節土坑」佐久市教育委員会・佐久埋蔵文化財調査センター1986『池畠・西御堂』「頬張第三格巻第十九、禁制事、野事の所で應禁署役馬牛事と應禁制役牛用祭神事の二つの禁制が發布されており、逆説的に考えると、庶民の間では、この二つの事が盛んに行われていたことが窺われる。」こと他より考察している。

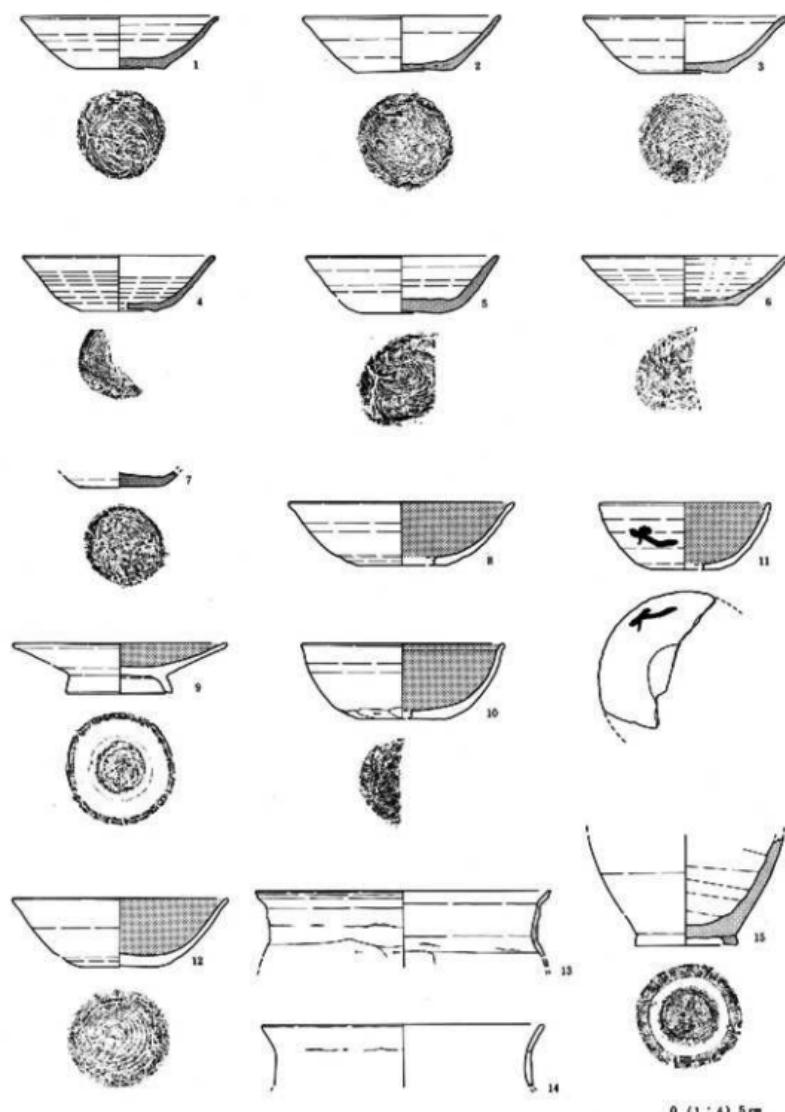
註2 佐久市教育委員会 昭和61年3月『大井城跡（黒岩城）』

註3 佐久市教育委員会 昭和63年3月『大井城跡』

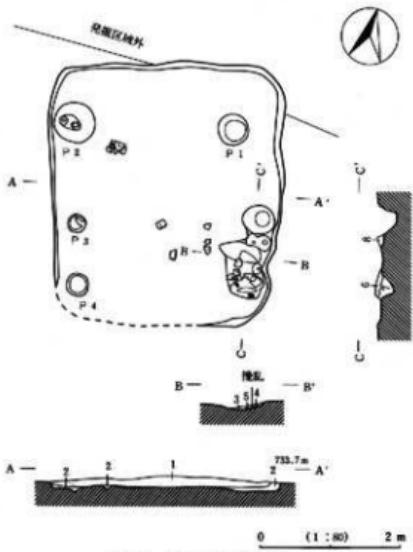
挿 図



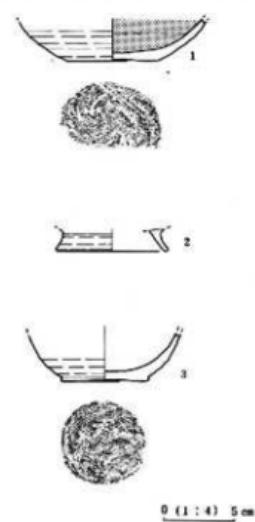
第4図 H1号住居址実測図



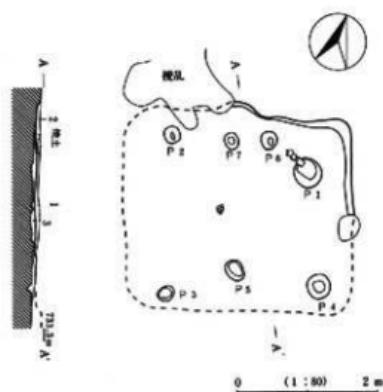
第5图 H1号住居址出土土器实测图



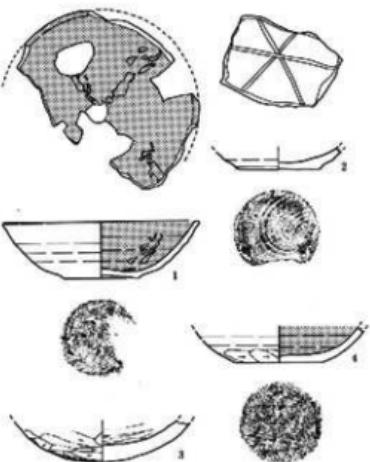
第6图 H2号住居址实测图



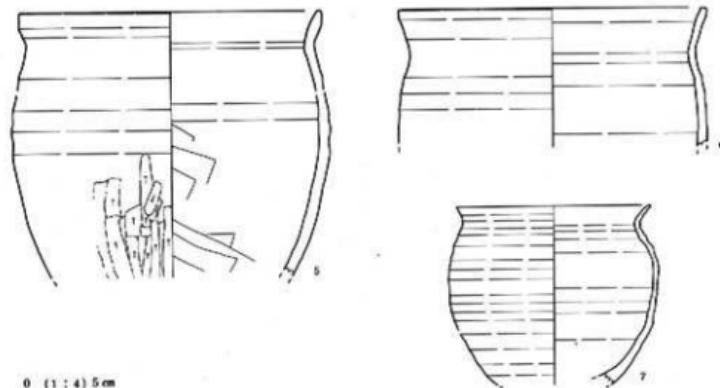
第7图 H2号住居址出土土器实测图



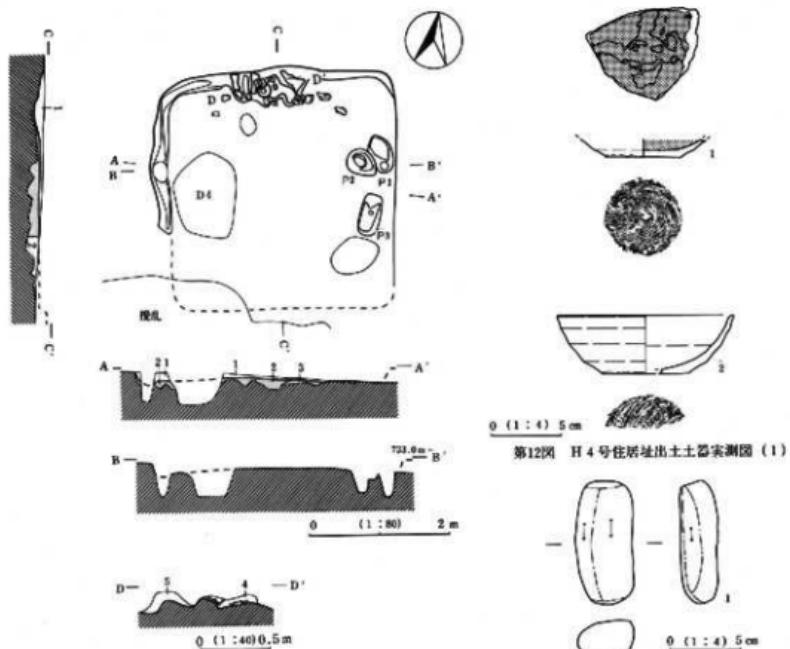
第8图 H3号住居址实测图



第9图 H3号住居址出土土器实测图(1)

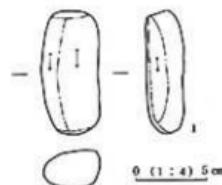


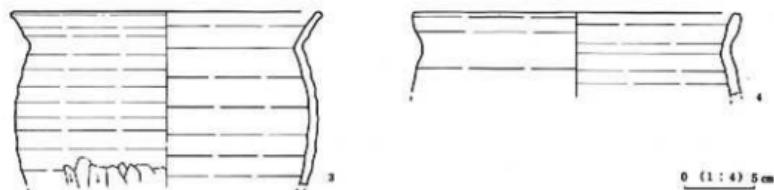
第10图 H3号住居址出土器实物图(2)



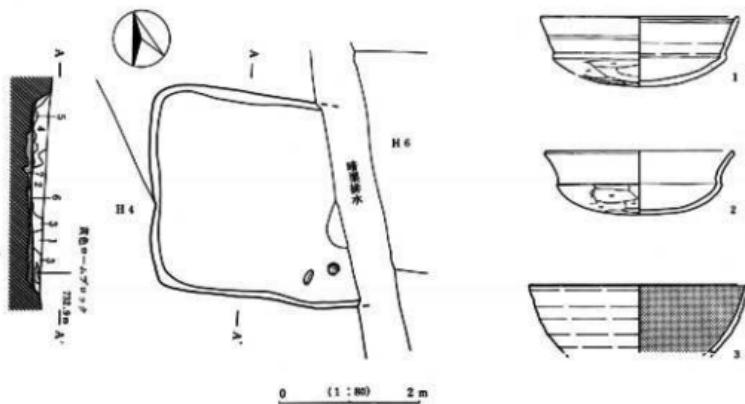
第11图 H4号住居址实测图

第12图 H4号住居址出土石器实测图

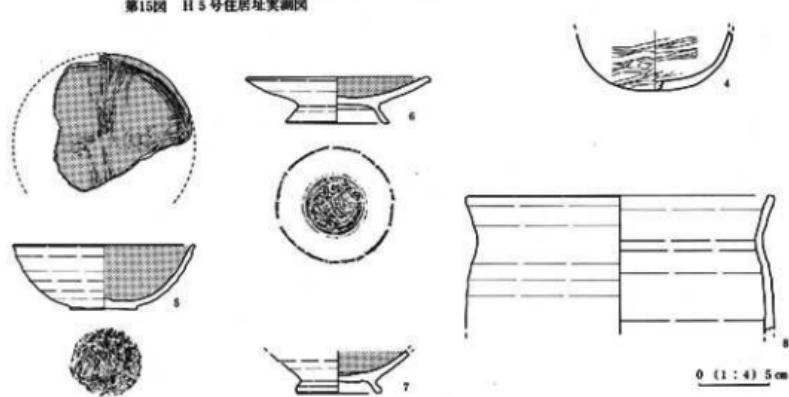




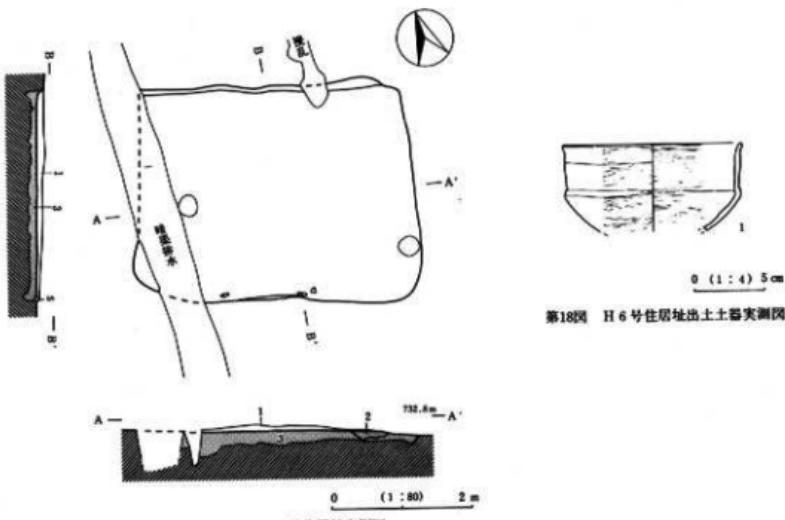
第14图 H4号住居址出土土器实测图(2)



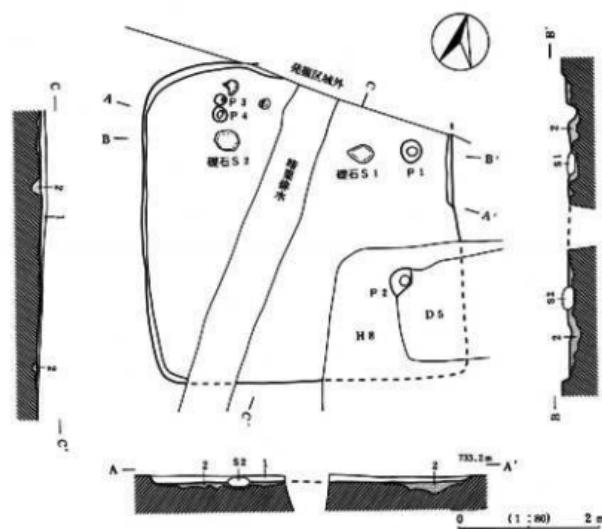
第15图 H5号住居址实测图



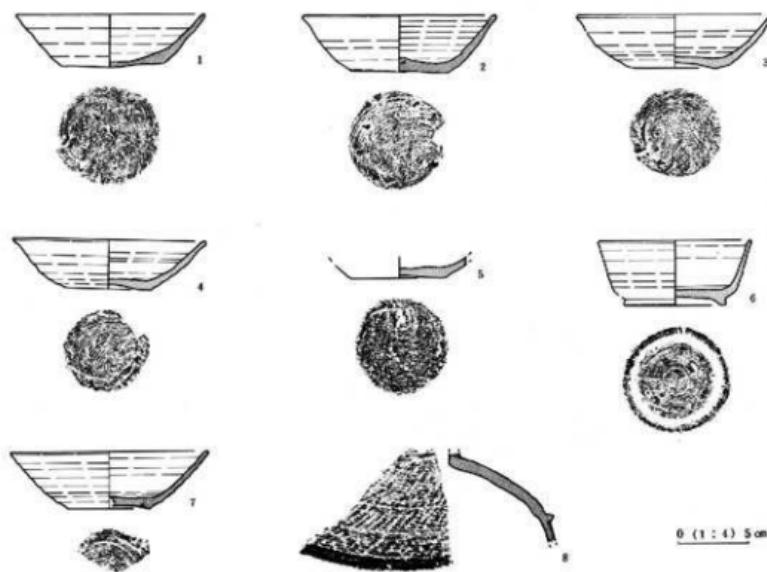
第16图 H5号住居址出土土器实测图



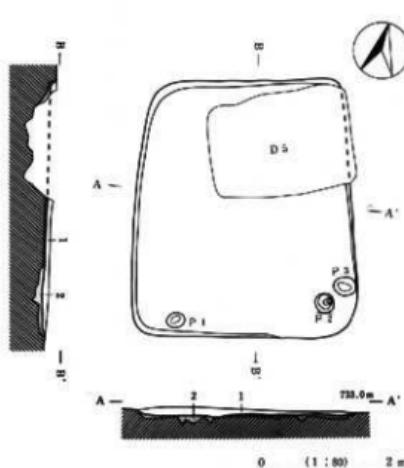
第18图 H 6号居住址出土土器实测图



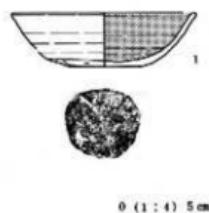
第19图 H 7号居住址实测图



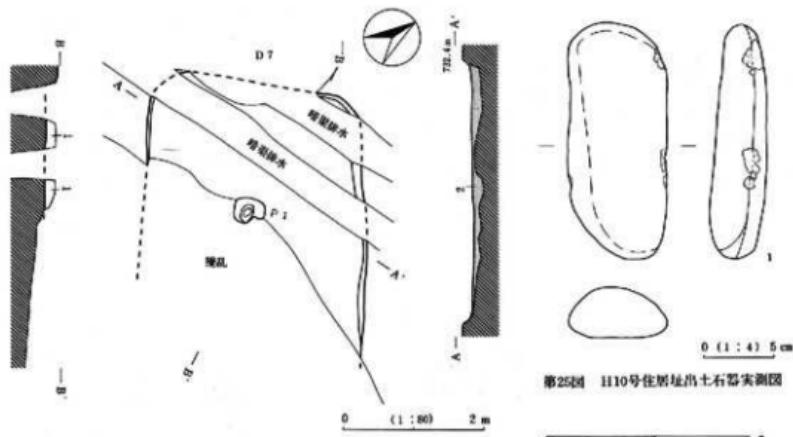
第20图 H7号住居址出土土器实测图



第21图 H7号住居址出土石器实测图

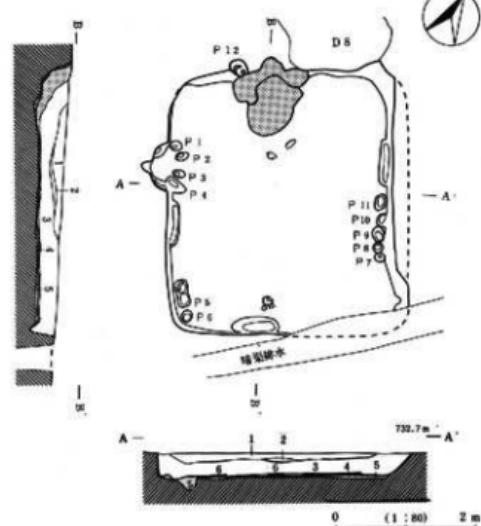
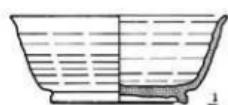


第23图 H8号住居址出土土器实测图

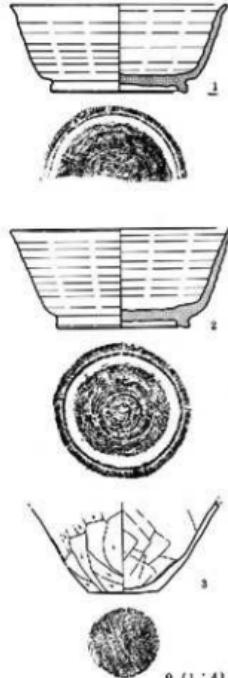


第24图 H9号住居址实测图

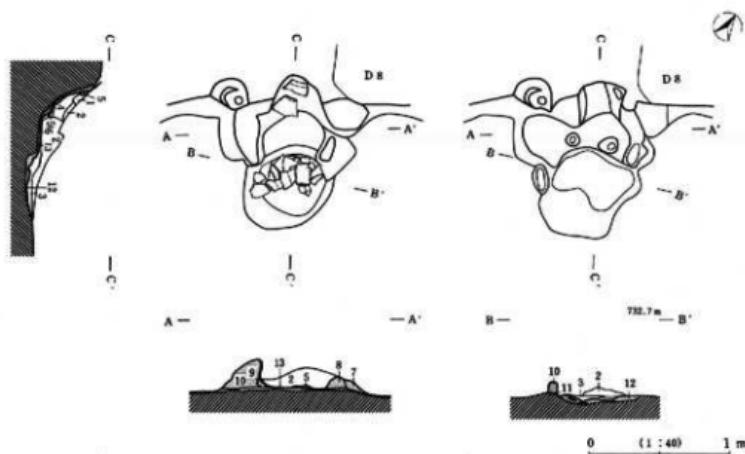
第25图 H10号住居址出土石器实测图



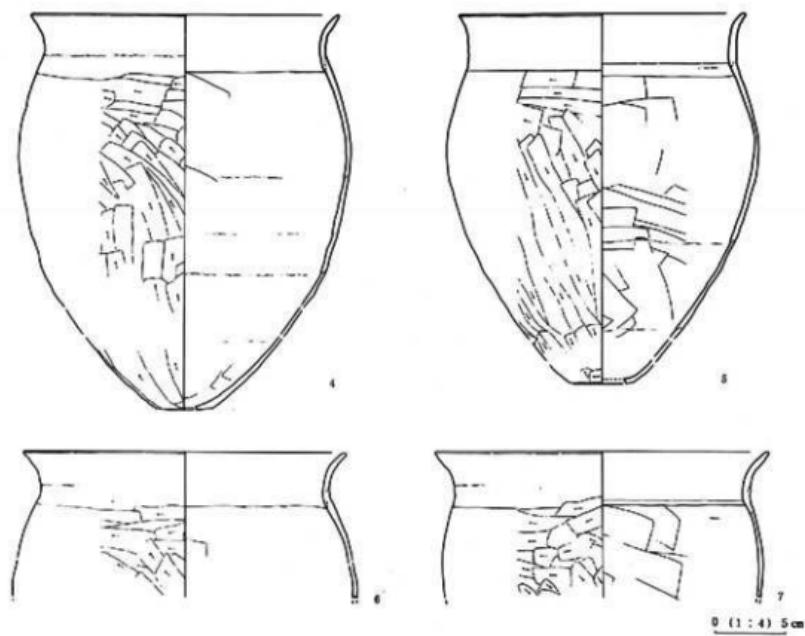
第26图 H10号住居址实测图



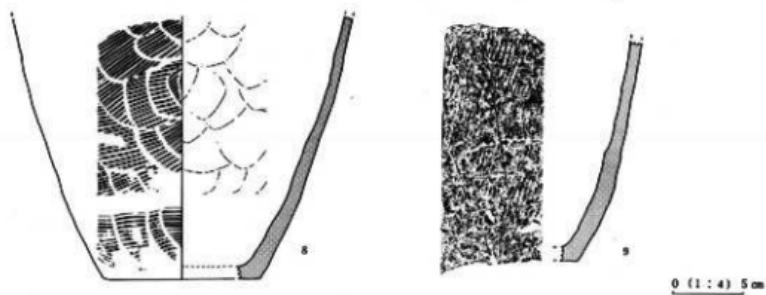
第27图 H10号住居址出土土器实测图 (1)



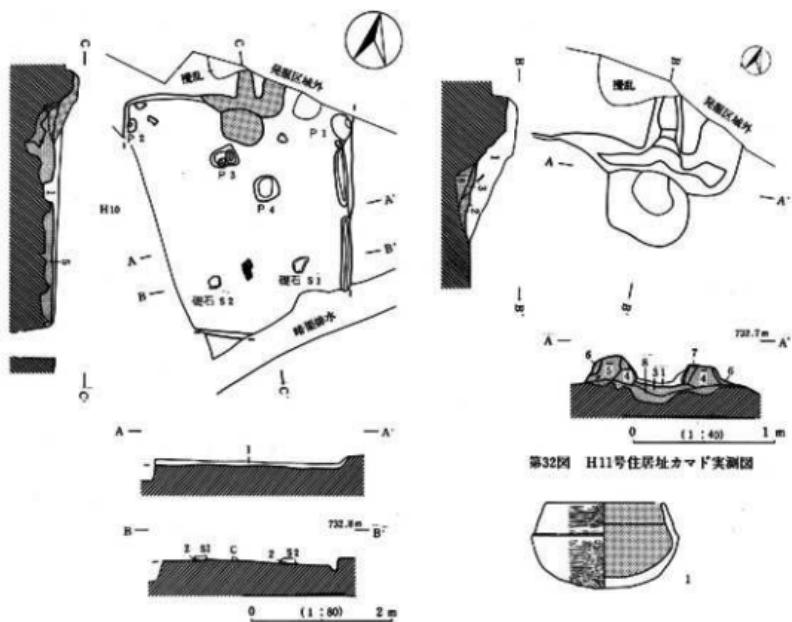
第28図 H10号住居址カマド実測図



第29図 H10号住居址出土土器実測図（2）

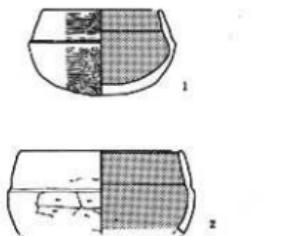


第30図 H10号住居址出土土器実測図(3)

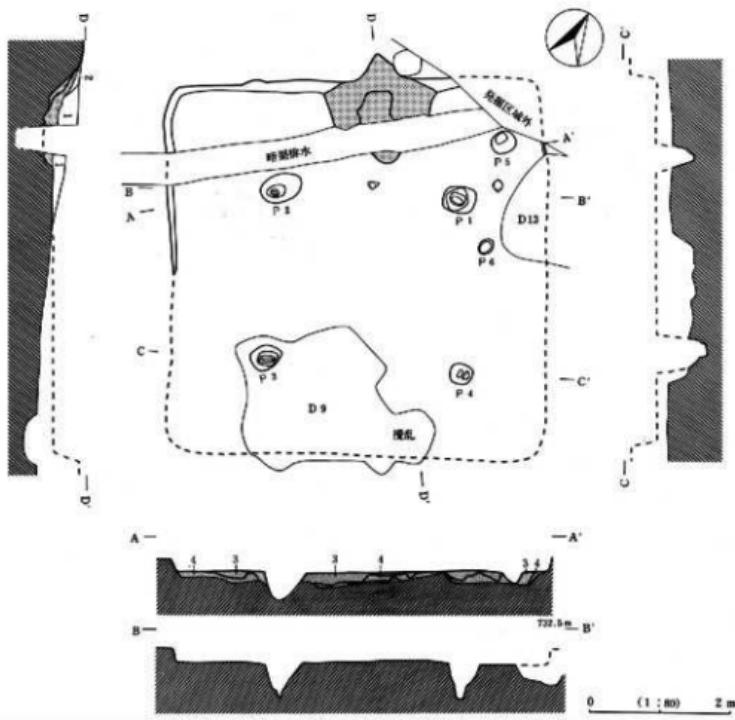


第31図 H11号住居址実測図

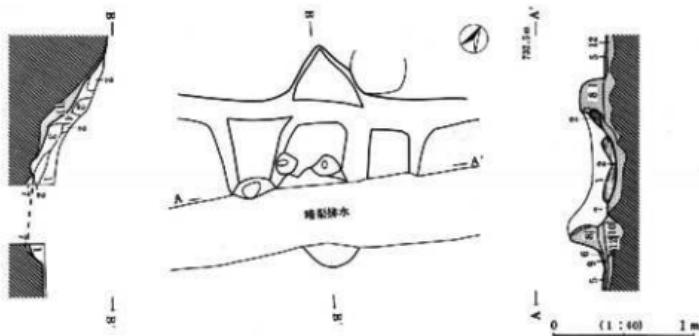
第32図 H11号住居址カマド実測図



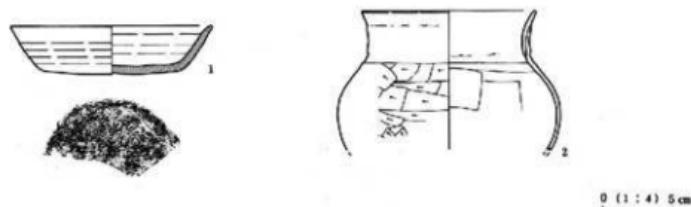
第33図 H11号住居址出土土器実測図



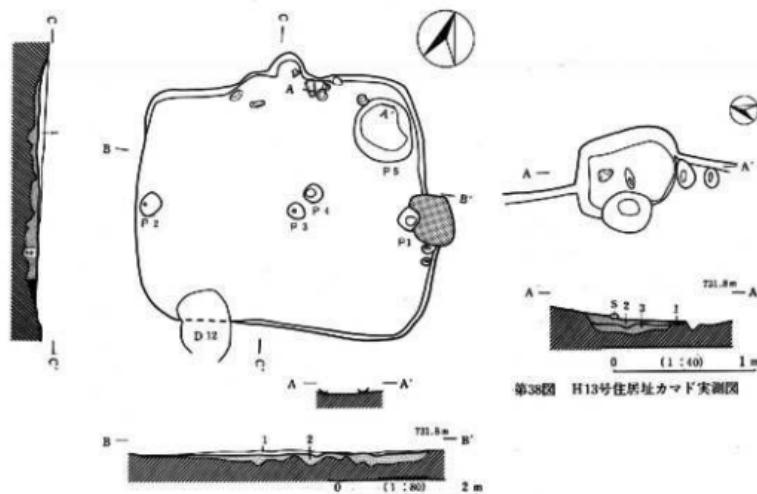
第34図 H12号住居址実測図



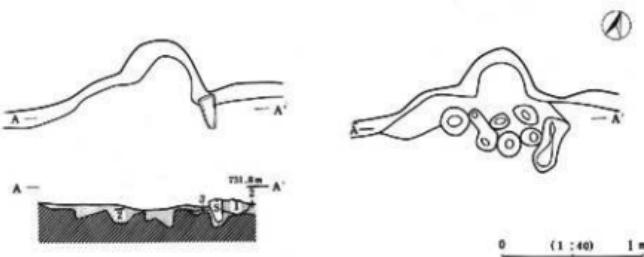
第35図 H12号住居址カマド実測図



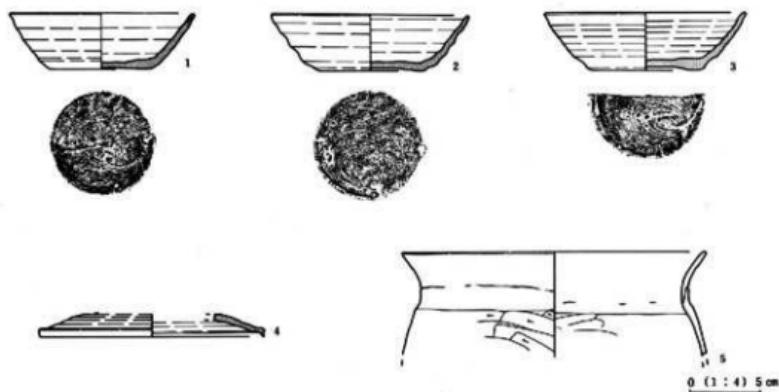
第36図 H12号住居址出土土器実測図



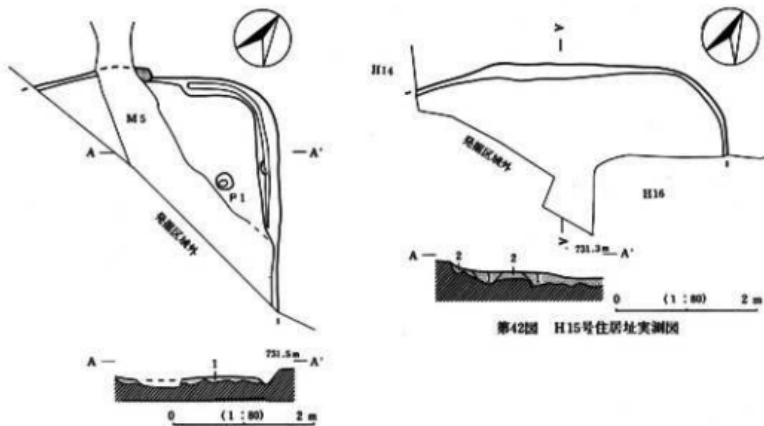
第37図 H13号住居址実測図



第39図 H13号住居址旧カマド実測図

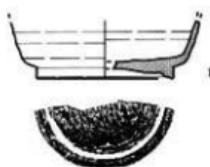


第40图 H13号住居址出土土器实测图

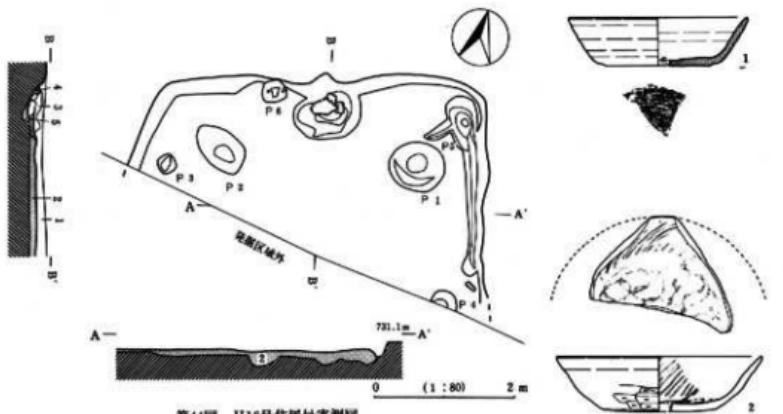


第41图 H14号住居址实测图

第42图 H15号住居址实测图



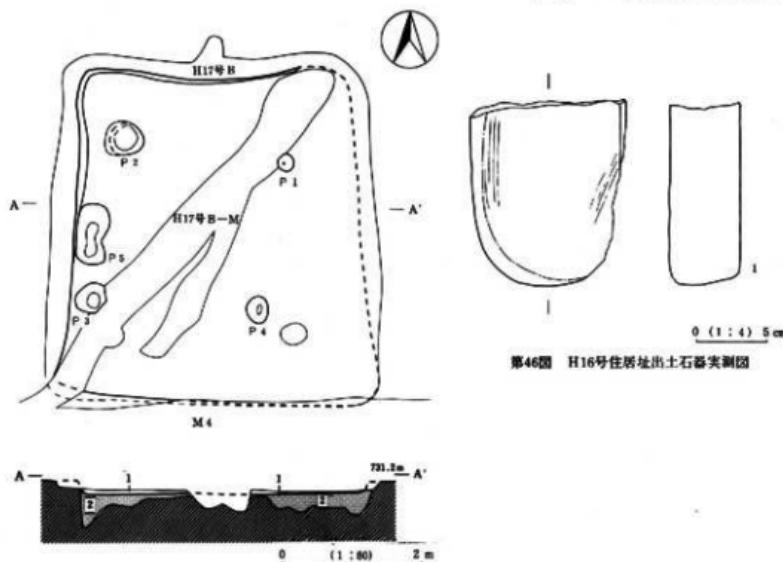
第43图 H15号住居址出土土器实测图



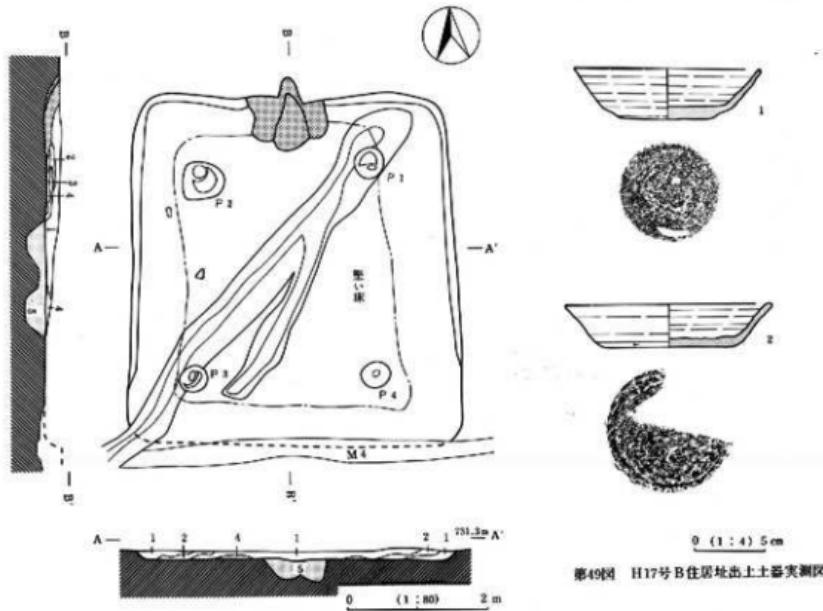
第44图 H16号住居址实测图

0 (1:4) 5cm

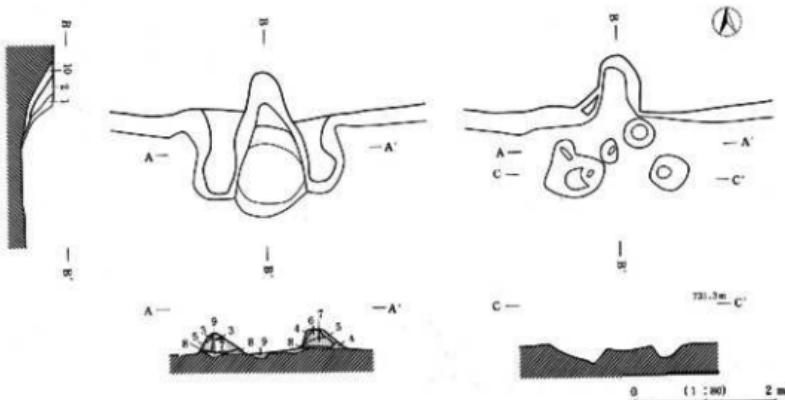
第45图 H16号住居址出土土器实测图



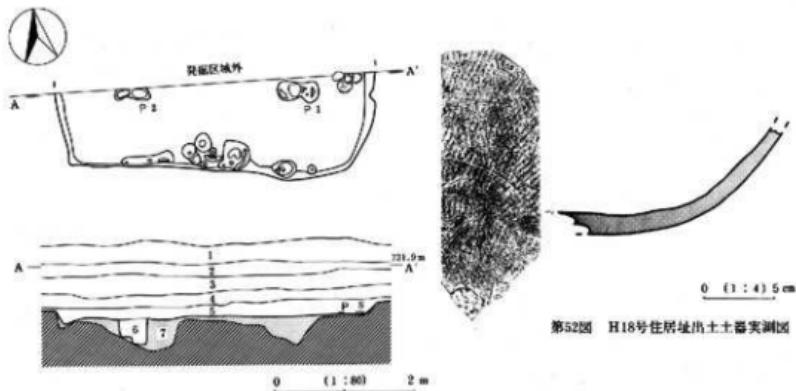
第47图 H17号A住居址实测图



第49図 H17号 B住居址出土器実測図

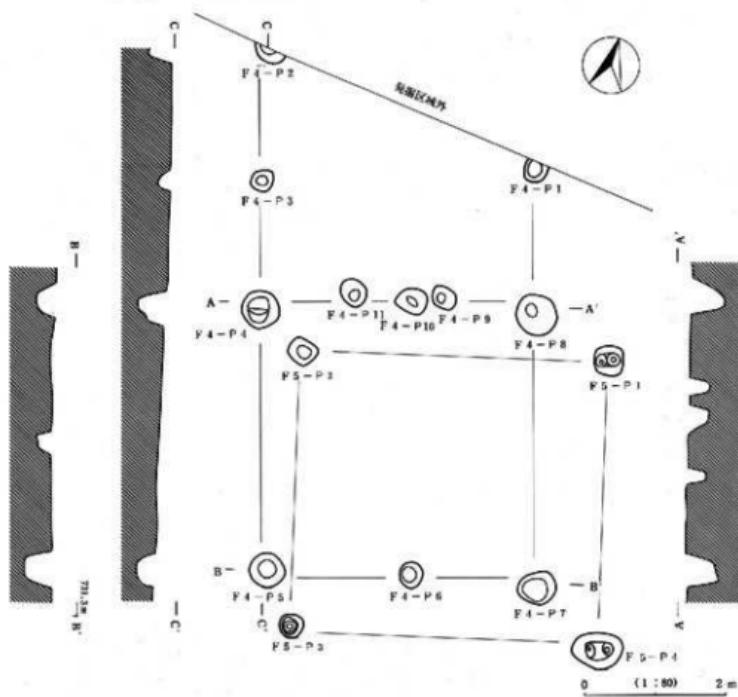


第50図 H17号 B住居址カマド実測図

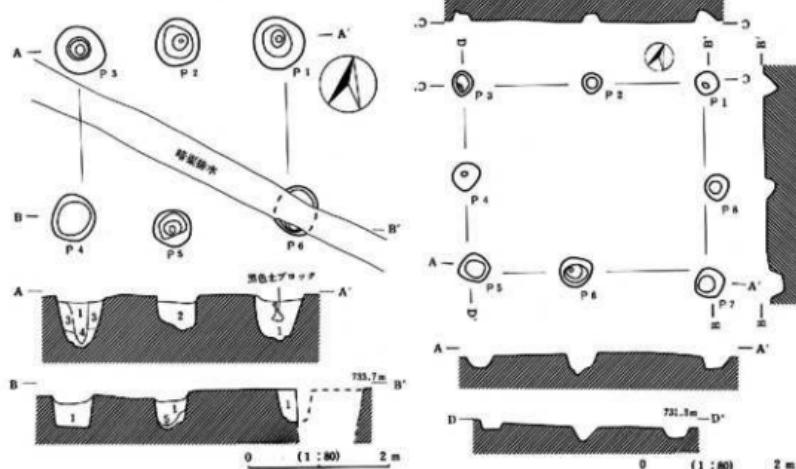


第51图 H18号住居址实测图

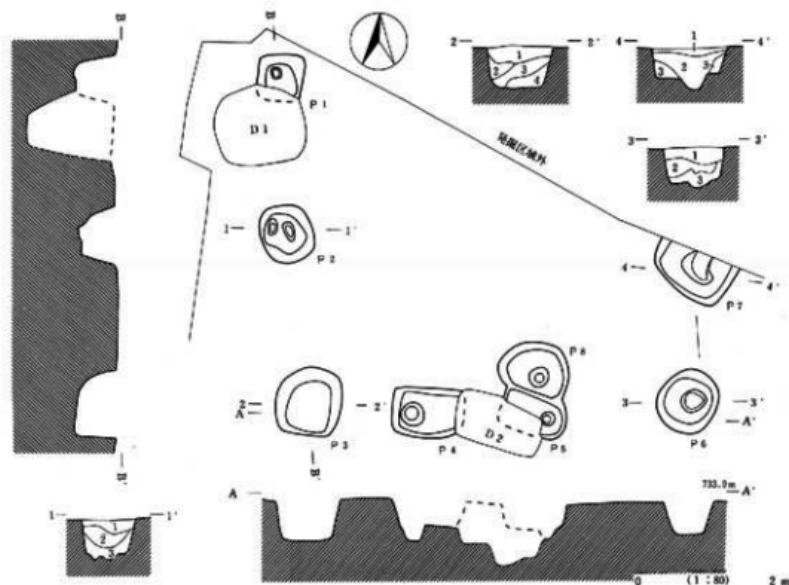
第52图 H18号住居址出土土器实测图

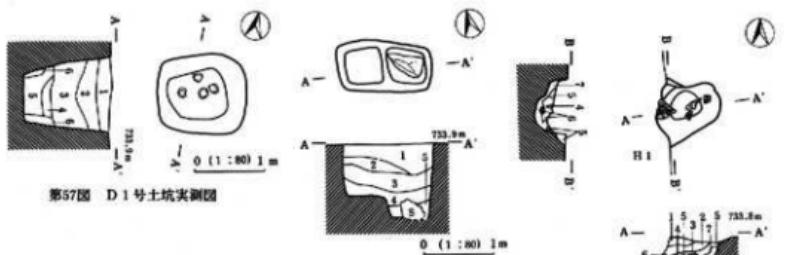


第53图 F 4号·F 5号掘立柱建筑址实测图

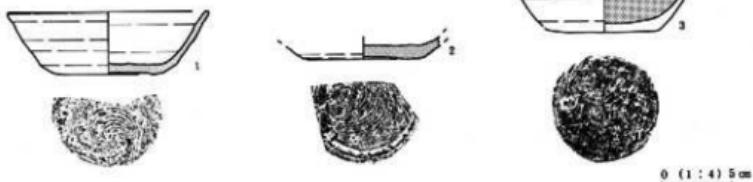
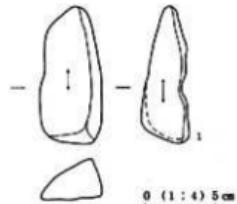
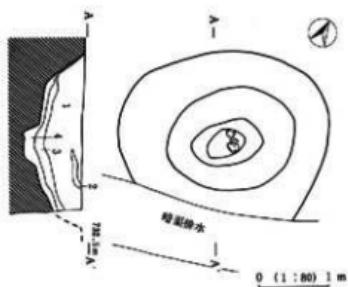
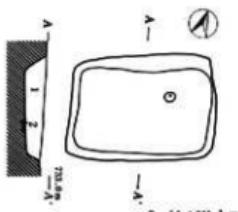
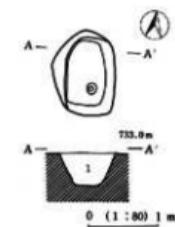
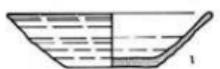


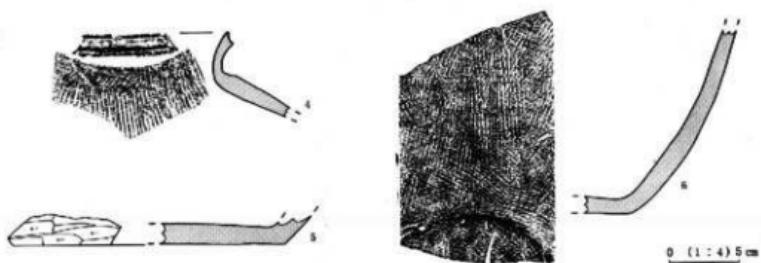
第55図 F-3号掘立柱建物址実測図



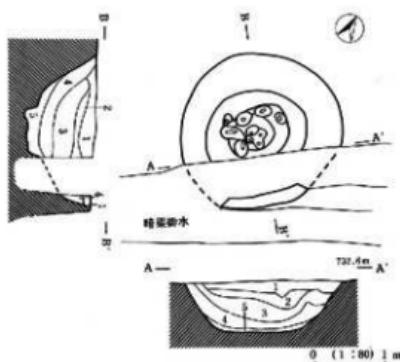


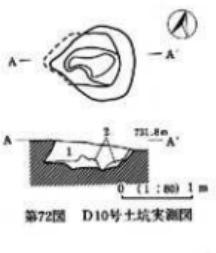
第59图 D3号土坑实测图



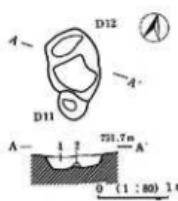


第66图 D6号土坑出土土器实测图(2)





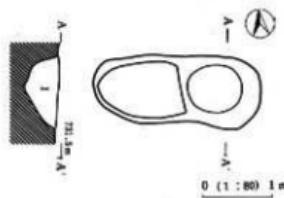
第72图 D10号土坑实测图



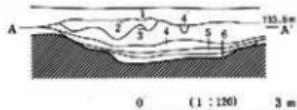
第73图 D11号·D12号土坑实测图



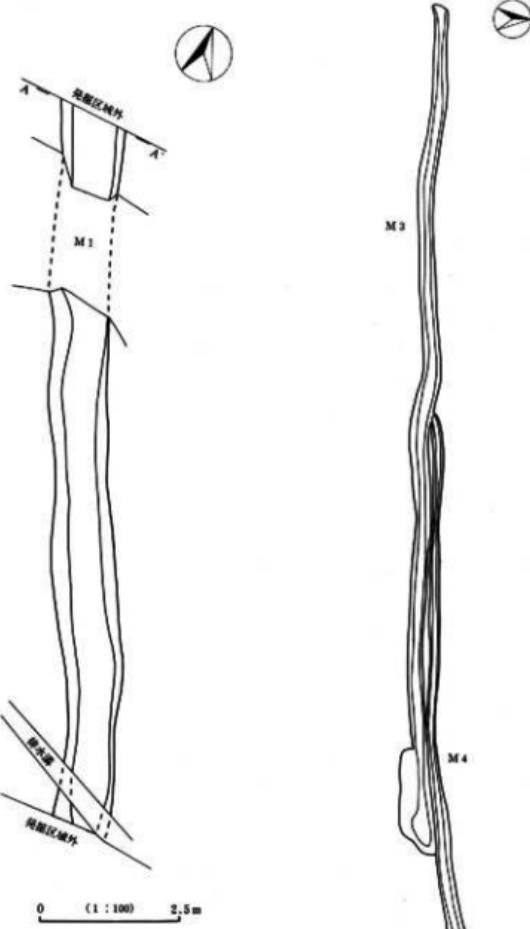
第74图 D13号土坑实测图



第75图 D14号土坑实测图

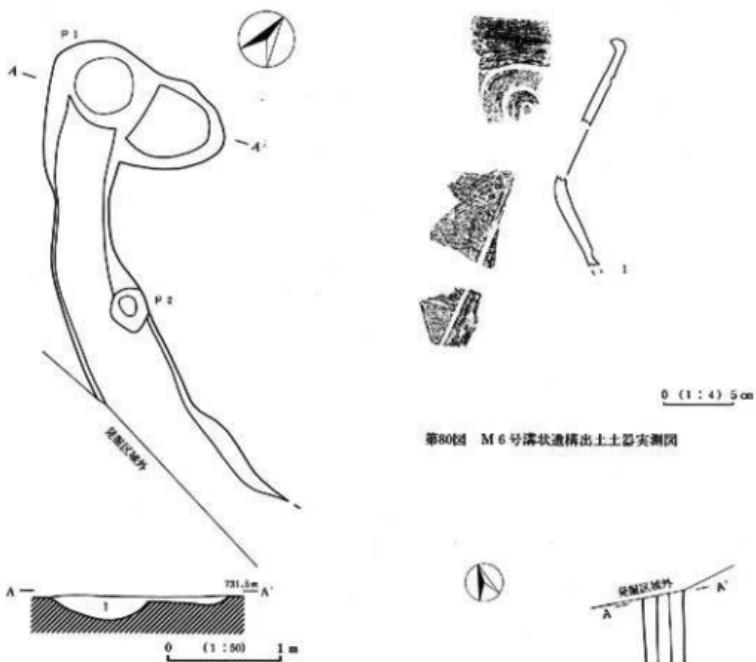


第76图 M1号溝状遺構实测图

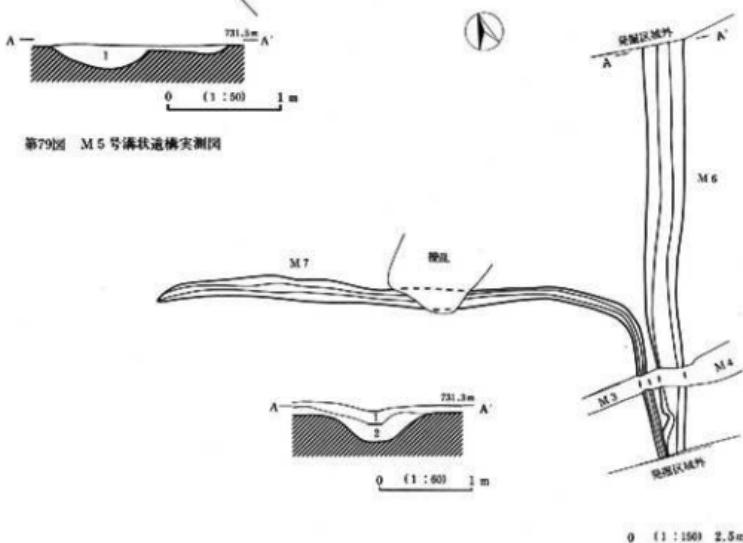


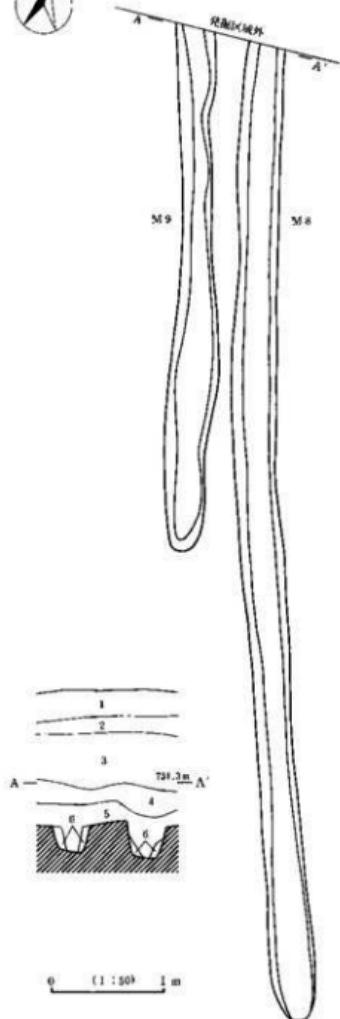
第77图 M2号溝状透構実測図

第78图 M3号・M4号溝状透構実測図

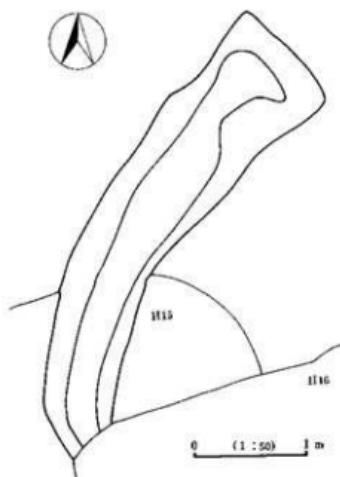


第79图 M5号溝状造構実測図

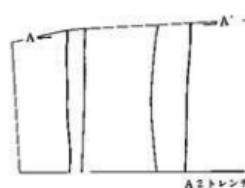




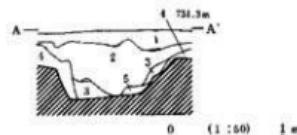
第82図 M8・M9号溝状造構実測図



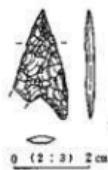
第83図 M10号溝状造構実測図



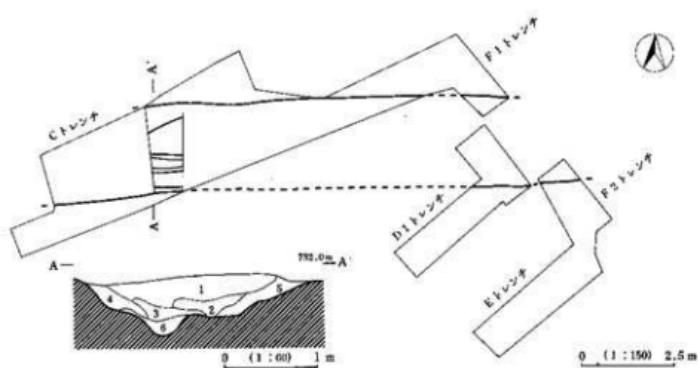
A-A'トレンチ



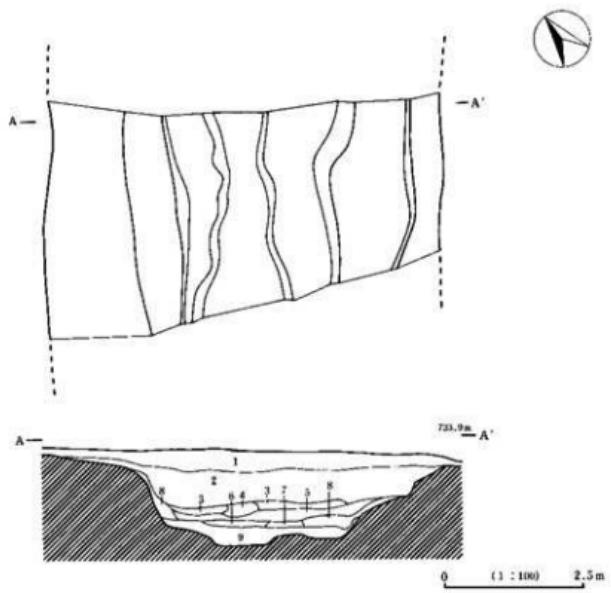
第84図 M12号溝状造構実測図



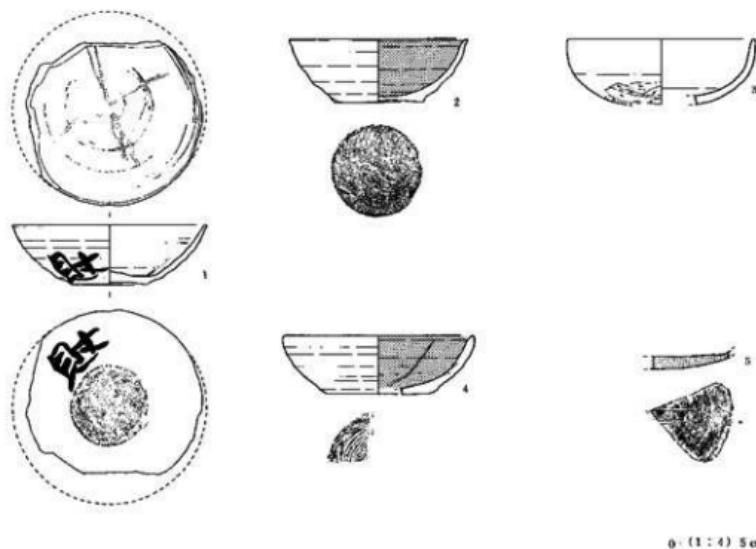
第85図 M11号溝状造構上石器実測図



第86図 M11号溝状透構形状図



第87図 M13号溝状透構形状図



0 : (1 : 4) 5 cm

第88図 トレンチ・グリッド出土遺物実測図

遺構土層説明一覧

H 1号住居址土層説明		H 5号住居址土層説明	
1層 黒褐色土 10YR2/3	礫(0.5cm大)を少量、 バニス(0.5cm)を撒 き含む。	1層 黒褐色土 10YR2/2	礫(0.5cm大)を多量、ロー ム粒子を撒き含む。
2層 黒褐色土 10YR2/2	バニス(0.5cm大)・ ローム粒子・陶片の黑 色土を少量含む。	2層 黒褐色土 10YR2/1	炭化粧子(0.3cm以下)を多量、 鐵土粒子を撒き含む。
3層 黒褐色土 10YR2/2	堅くしまる。礫(1~ 3cm大)・砂粒を少量 含む。褐色土を含む。	3層 黑褐色土 10YR2/2	ローム粒子を多量、ロー ムブロック・バニス(1cm 大)を少量含む。
4層 黑褐色土 10YR1.7/1	バニスを微量含む。		
5層 黑褐色土 10YR1.7/1	堅くしまる。礫(1~ 3cm大)・砂粒を少量 含む。褐色土を含む。時 褐色土も斑状に含む。		
6層 磨擦褐色土 7.5YR2/3	陶片・粒子を多量含む。		
7層 黑褐色土 10YR1.7/1	陶片・粒子を少量含む。		
8層 黑褐色土 10YR2/1	バニスを微量含む。		
H 2号住居址土層説明		H 7号住居址土層説明	
1層 黑褐色土 10YR2/1	バニス(0.5cm大) ・赤く色化した鉄分 を微量含む。	1層 黑褐色土 10YR2/3	ロームブロックを多量、バ ニス(0.3~0.5cm大)を少 量含む。
2層 黑褐色土 10YR2/1	堅くしまる。ロー ム粒子を少量、バニス (0.5cm大)を微量含 む。	2層 黑褐色土 10YR3/2	ローム粒子を多量、バニス (0.3cm大)を少量含む。
3層 黑褐色土 7.5YR2/2	鐵土粒子を少量含む。		
4層 黑褐色土 7.5YR3/2	鐵土粒子を少量含む。		
5層 磨擦赤褐色土 5YR2/3	鐵土粒子(0.5cm大)		
6層 黑褐色土 7.5YR2/1	・鐵土粒子を微量含 む。		
7層 磨擦褐色土 7.5YR3/3	ロームブロック・ バニス粒子を少量含 む。		
8層 黑褐色土 7.5YR3/2	バニス(0.5cm大) ・陶片・粒子を微量含 む。		
H 3号住居址土層説明		H 8号住居址土層説明	
1層 品色土 10YR2/1	ローム粒子を少量含む。	1層 黑褐色土 10YR3/2	ロームブロック・バニス (0.5cm大)を多量含む。
2層 磨擦褐色土 10YR3/3	ローム粒子を少量含む。	2層 黑褐色土 10YR2/1	ロームブロック・バニス (0.3~0.5cm大)を少量含 む。
3層 黑褐色土 10YR1.7/1	ローム粒子を微量含む。		
H 4号住居址土層説明		H 9号住居址土層説明	
1層 黑褐色土 10YR2/1	黒褐色土ブロックを多量、 にぶく赤褐色土ブロック を微量含む。	1層 黑褐色土 10YR2/1	ローム粒子・バニスを微量 含む。
2層 棕褐色土 10YR4/8	堅くしまる。礫(0.3~ 0.5cm大)・ローム粒子 ・ロームブロックを微量 含む。	2層 黑褐色土 10YR2/3	褐色土上ブロックを多量、バ ニス(0.5cm大)を少量含 む。
3層 黑褐色土 10YR3/2	バニスを微量含む。		
4層 磨擦褐色土 7.5YR3/4	鐵土ブロックを少量含む。 ロームが主、礫(0.3cm 大)を多量、バニス(0. 3cm大)を少量含む。	4層 黑褐色土 7.5YR3/2	褐色土の塊状の塊土ブ ロック・黒褐色土ブロック を多量含む。
5層 黑褐色土 10YR2/3		5層 棕褐色土 7.5YR4/3	住居使用中に堆積したと 思われる土。 ロームが主とし、バニス (小)を少量、黒褐色土を 含む。
		6層 黑褐色土 10YR2/2	6層 黑褐色土 10YR2/2 非常にきめ細かく粘性強。
H 5号住居址土層説明		H 10号住居址土層説明	
1層 黑褐色土 10YR3/2	ローム粒子を多量含む。	1層 黑褐色土 7.5YR3/2	褐色土の塊状の塊土ブ ロック・黒褐色土ブロック を少量含む。
2層 黑褐色土 10YR2/1	黄褐色・褐色土ロームブロ ックを多量、バニスを微量 含む。	2層 黑褐色土 7.5YR2/1	
3層 黑褐色土 10YR2/2	ローム粒子・ロームブ ロックを少量含む。	3層 磨擦赤褐色土 7.5YR3/3	鐵土粒子を多量含 む。
4層 棕褐色土 7.5YR4/3	ロームブロック・ローム 粒子を多量、バニスを少 量含む。	4層 棕褐色赤褐色土 7.5YR2/3	鐵土ブロックを少 量含む。
5層 黑褐色土 10YR2/3		5層 にぶく赤褐色土 2.5YR4/4	鐵土・天井部が崩落した もの。
		6層 黑褐色土 2.5YR2/2	
		7層 黑褐色土 7.5YR7/8	
		8層 棕褐色赤褐色土 2.5YR2/3	
		9層 棕褐色赤褐色土 2.5YR2/2	
		10層 棕褐色土 2.5YR6/6	
		11層 棕褐色土 2.5YR4/4	
		12層 棕褐色赤褐色土 2.5YR2/2	
		13層 黑褐色土 2.5YR2/2	熱を受け、にぶく 崩落がかかる。塊 状の鐵土粒子を多 量、礫を少量含む。 黃褐色土・褐色土 ブロックを含む。

H11号住居址土層説明 1層 黒色土 10YR2/1	ロームブロック・ローム粒子を少量、炭化粒子・バクス(0.5cm大)を微量含む。	3層 黒褐色土 10YR2/2	址と同様。
2層 黒褐色土 10YR2/2	ローム粒子を多量含む。	H14号住居址土層説明 1層 黒色土 10YR1.7/1	褐色土ブロックを含む。
3層 黒色土 10YR2/1	ローム粒子を少量含む。	H15号住居址土層説明 1層 黒褐色土 10YR2/2	ロームブロック・ローム粒子を多量、バクスを微量含む。
4層 暗褐色土 7.5YR5/6	ロームが主。バクスを微量含む。	2層 褐色土 10YR4/6	ロームが主。バクスを少量含む。
5層 褐色土 10YR4/8	ロームが主。バクス・黑色土ブロックを少量含む。	H16号住居址土層説明 1層 黒色土 10YR1.7/1	早い。
H11号住居址カマド土層説明 1層 暗褐色土 7.5YR3/3	灰・鐵土ブロック(中)を多量、黑色土・褐鐵色土ブロックを含む。	2層 黒褐色土 10YR2/2	バクス(0.5~3cm大)・ロームブロックを多量含む。
2層 暗褐色土 7.5YR6/8	鐵土・灰を多量含む。	3層 褐色土 2.5YR6/6	機器上が崩落したもの。
3層 斑赤褐色土 5YR3/2	鐵土ブロック(小)・灰を多量含む。	4層 赤褐色土 2.5YR2/1	鐵土ブロック・灰を含む。
4層 暗褐色土 7.5YR4/6	ローム粒子を多量含む。	5層 赤褐色土 2.5YR1.7/1	5層 赤褐色土 2.5YR1.7/1
5層 暗褐色土 7.5YR4/3	ローム粒子を多量含む。	H17号A住居址土層説明 1層 黒褐色土 10YR3/2	ローム粒子・礫(小)を多量、黑色土ブロックを含む。
6層 にじい褐色土 7.5YR5/4	鐵土・灰を多量含む。	2層 にじい褐色土 10YR4/3	ローム粒子・ロームブロックを多量含む。
7層 暗褐色土 7.5YR3/4	鐵土・灰を多量含む。	H17号B住居址土層説明 1層 黒褐色土 10YR2/2	ローム粒子・ロームブロック・バクス(微小)を含む。
8層 黑褐色土 7.5YR3/2	ロームが主。バクスを微量含む。	2層 黑褐色土 10YR2/3	ローム粒子・ロームブロックを多量含む、バクスを含む。
H12号住居址土層説明 1層 黑褐色土 10YR2/3	バクス(0.5~1cm大)を多量、ローム粒子を少微量含む。	3層 黑色土 10YR2/1	ローム粒子・バクスを少量含む。
2層 黑褐色土 7.5YR3/2	鐵土粒子・粘土粒子を少微量含む。	4層 暗褐色土 7.5YR4/4	ロームが主。黒褐色土・バクス(大)を多量含む。
3層 黑褐色土 10YR3/2	ロームブロックを多量、バクスを微量含む。	5層 黑色土 10YR1.7/1	H17号D住居址カマド土層説明 1層 にじい褐色土 5YR6/4
4層 暗褐色土 10YR4/6	ロームが主。バクスを微量含む。	2層 黑褐色土 5YR3/1	ローム粒子を多量、燒土粒子を少量含む。
H12号住居址カマド土層説明 1層 黑褐色土 10YR2/3	明褐色土の黒褐色ブロックを多量含む。	3層 黑色土 10YR1.7/1	黒褐色土ブロック。
2層 明褐色土 10YR6/6	鐵土。	4層 灰褐色土 5YR3/4	燒土粒子を多量含む。
3層 赤褐色土 5YR4/6	鐵土を多量、灰を含む。	5層 黑褐色土 10YR3/2	ローム粒子を多量、燒土・黒褐色ロックを少量含む。
4層 灰褐色土 5YR2/3	燒土を少量含む。	6層 黑褐色土 10YR3/4	燒土粒子。
5層 明褐色土 7.5YR5/6	ローム粒子を少量含む。	7層 にじい褐色土 10YR7/3	ロームが主。燒土粒子を微量含む。
6層 にじい褐色土 5YR4/6	鐵土。	8層 黑色土 10YR1.7/1	焼土(0.5cm大)を少量含む。
7層 棕褐色褐色土 2.5YR2/3	燒土ブロック・鐵・明褐色土を含む。全体に鐵を受けている。	9層 黑褐色土 5YR1.7/1	ローム粒子を多量、燒土・黒褐色ロックを少量含む。
8層 暗褐色土 10YR4/6	。	10層 黑褐色土 5YR2/1	ロームブロックを多量、礫(0.5cm大)を少量含む。
9層 黑褐色土 7.5YR2/2	。	H18号住居址土層説明 1層 黑褐色土 10YR2/2	粘性強。
10層 黑褐色土 10YR4/6	。	2層 黑褐色土 10YR3/3	バクス(小)を少量含む。
11層 黑褐色土 5YR3/1	。	3層 黑褐色土 10YR3/2	バクス(小)を少量含む。
12層 黑色土 7.5YR2/1	。	4層 黑褐色土 10YR2/3	バクス(小~中)を少量含む。
H13号住居址土層説明 1層 にじい赤褐色土 5YR4/4	。		
2層 黑褐色土 7.5YR2/1	ロームブロックを少量、バクス・礫を微量含む。		
3層 暗褐色土 10YR3/4	ロームが主。		
H13号住居址旧カマド土層説明 1層 黑褐色土 10YR2/2	暗褐色土ブロックを含む。(作段址1層と同様)		
2層 黑褐色土 10YR2/2	褐色の地山土・褐色土ブロックを多量含む。(作段址)		

5層 黒色土 10YR2/1	ローム粒子を少量、バシス（小～中）を多量含む。	（人）を微量含む。
6層 暗褐色土 7.5YR4/6	ローム粒子を多量含む。	明赤褐色の地山ブロックを含む。
7層 暗褐色土 10YR3/3	ローム粒子を多量含む。	
F 1号獨立柱建物址土壤説明		
1層 暗褐色土 10YR3/3	硬（0.5cm大）、赤く變色した鉄分を少量、バシス（0.3cm大）を微量含む。	人為的堆上と思われる。
2層 暗褐色土 10YR3/3	バシス、ローム粒子を微量、暗褐色土ブロックを床状含む。	例：褐色・板色ブロック（極小）を多量含む。
3層 黑褐色土 10YR2/3	ローム粒子を多量、バシスを微量含む。	
4層 暗褐色土 10YR3/3	きめ細かい、赤く変色した鉄分を多量含む。	
5層 黑色土 10YR1.7/1	地山の黒色土が土、ローム粒子を少量含む。	
F 2号獨立柱建物址土壤説明		
1層 暗褐色土 10YR3/4	硬、ロームブロックを多量含む。	
2層 黑色土 10YR2/1	暗褐色土ブロックを多量、砂を少量含む。	
3層 黑色土 10YR1.7/1	暗褐色土ブロックを少量含む。	
4層 黑色土 10YR1.7/1	暗褐色粒子を微量含む。	
D 1号土坑土壤説明		
1層 暗褐色土 10YR3/4	硬（小）、ロームブロックを少量含む。	
2層 暗褐色土 10YR3/2	硬（小）、ローム粒子を微量含む。	
3層 黑褐色土 10YR2/2	硬（小）、ロームブロックを多量含む。	
4層 暗褐色土 10YR3/3	ローム粒子を多量含む。	
5層 黑色土 10YR2/1	ローム粒子を少量含む。	
6層 暗褐色土 10YR4/4	ロームが主。黒色土ブロックを含む。	
D 2号土坑土壤説明		
1層 暗褐色土 10YR3/4	硬（小）、ロームブロックを多量含む。	
2層 暗褐色土 10YR2/2	硬（小）、ローム粒子を少量含む。	
3層 黑褐色土 10YR2/3	ローム粒子を少量含む。	
4層 黑色土 10YR2/1	ローム粒子を少量含む。	
5層 暗褐色土 10YR1.7/1	ローム粒子を微量含む。	
D 3号土坑土壤説明		
1層 黑褐色土 10YR2/3	硬（0.1cm大）を微量含む。	
2層 黑色土 10YR2/1	炭化粒子を少量、バシス（0.1cm大）を微量含む。	
3層 暗褐色土 7.5YR4/6	黑色土を含む。	
4層 黑褐色土 7.5YR2/2	バシスを微量含む。	
5層 暗褐色土 7.5YR4/4	6層の褐色土を少量含む。	
6層 暗褐色土 7.5YR4/6	炭化粒子を微量含む。	
7層 黑褐色土 7.5YR3/2	地山の褐色土を微量含む。	
D 4号土坑土壤説明		
1層 黑色土 10YR1.7/1	バシス（0.5cm以下）を少量含む。	
D 5号土坑土壤説明		
1層 黑褐色土 10YR2/3	ロームブロック、バシス（0.3cm大）を多量含む。	
2層 黑褐色土 10YR3/2	ローム粒子を多量含む。	
D 6号土坑土壤説明		
1層 暗褐色土 7.5YR2/2	バシス（0.5cm大）を少量、バシス（3～5	
2層 暗褐色土 7.5YR2/3		
3層 黑色土 7.5YR2/1		
4層 暗褐色土 7.5YR2/3		
D 7号土坑土壤説明		
1層 黑色土 10YR2/1	硬（小）、砂を微量含む。	
2層 黑褐色土 10YR3/2	ローム粒子を多量、硬（小）を少量含む。	
3層 黑褐色土 10YR2/2	ローム粒子、ロームブロックを多量、硬（小）を少量含む。	
4層 黑色土 10YR1.7/1	硬（小）、ローム粒子、ロームブロックを少量含む。	
5層 黄褐色土 10YR5/6		
D 8号土坑土壤説明		
1層 黑褐色土 7.5YR3/2	端上にブロック、斑状褐色土、膠色土を含む。	
2層 配合土	浅灰色土、褐色土、砂を少量含む。	
3層 明黄色土 10YR6/6	褐色土、明褐色土、暗褐色土上を含む。	
D 9号土坑土壤説明		
1層 黑色土 10YR2/1	ローム粒子、ロームブロック（黄・褐・白色）を多量含む。	
2層 暗褐色土 10YR7/6	ロームが主。	
3層 黑褐色土 10YR5/6	ロームが主。硬（0.5～1cm大）を少量含む。	
4層 找索樣土 10YR8/4	ロームが主。	
D 10号土坑土壤説明		
1層 黑色土 10YR2/1	バシス、ロームブロックを少量含む。	
2層 黄褐色土 10YR5/6	ロームが主。	
D 12号土坑土壤説明		
1層 黑色土 10YR2/1	1層 黑褐色土 5YR3/8 黑色土ブロック（小）を含む。	
2層 明褐色土 5YR5/8		
D 14号土坑土壤説明		
1層 黑色土 10YR2/1	ロームブロックを少量、バシスを微量含む。	
M 1号溝状遺構土壤説明		
1層 黑褐色土 5YR2/1	耕作土。	
2層 暗褐色土 5YR3/3	硬（0.5cm大）を少量含む。	
3層 暗褐色土 5YR3/4	硬（0.5cm大）を微量含む。	
4層 黑褐色土 5YR3/1	砂を少量含む。	
5層 黑褐色土 5YR2/1	硬・砂を少量含む。	
6層 黑色土 5YR1.7/1	堅い。硬を微量含む。	
M 2号溝状遺構土壤説明		
1層 黑褐色土 7.5YR3/1	ローム粒子を少量含む。	
M 4号溝状遺構土壤説明		
1層 黑褐色土 10YR2/2	バシスを少量、ローム粒子を含む。	
M 5号溝状遺構土壤説明		
1層 黑色土 10YR1.7/1	ロームブロックを多量、	

ローム粒子・バクスを少量含む。

M6号溝状遺構土層説明

- 1層 黒色土 7.5YR2/1 粘 (0.5~1cm大) を少
量含む。
2層 黒色土 7.5YR1.7/1 粘 (0.5~1cm大) を多
量含む。

M8号・M9号溝状遺構土層説明

- 1層 棕褐色土 10YR4/1 耕作土。
2層 棕褐色土 7.5YR3/4 耕作土。
3層 黑褐色土 7.5YR3/1 バクス (0.5cm大) を
少量含む。
4層 黑色土 7.5YR2/1 バクス (0.5cm大) を
少量含む。
5層 黑色土 7.5YR1.7/1 ローム粒子を微量含む。
6層 棕褐色土 7.5YR4/3 ローム粒子を少量含む。

M11号溝状遺構土層説明

- 1層 黑色土 10YR2/1 粘 (0.3cm大) ・ローム粒
子を少量含む。
2層 黑褐色土 10YR2/3 砂質、粘 (0.5~1cm大) を
多量含む。
3層 棕褐色土 10YR2/3 粘 (0.3cm大) ・ローム粒
子を微量含む。
4層 黑褐色土 10YR3/2 粘 (1~3cm大) を多量、
ローム粒子を少量含む。

5層 黑褐色土 10YR2/3 ローム粒子を多量、粘
(0.3cm大) を少量含む。
6層 黑褐色土 10YR3/2 ローム粒子を多量含む。

M12号溝状遺構土層説明

- 1層 黑褐色土 10YR2/2 耕作土。
2層 黑色土 10YR2/1 ローム粒子を少量、バクス
(1.5cm大) を微量含む。
3層 黑褐色土 10YR2/3 ローム粒子を多量、バクス
(0.5cm大) を微量含む。
4層 棕褐色土 10YR3/4 バクスが付。
5層 棕褐色土 10YR2/4 ローム粒子・ロームブロッ
クを多量含む。

M13号溝状遺構土層説明

- 1層 黑褐色土 10YR2/2 粘 (小)・底土を少量
含む。
2層 黑色土 10YR2/1 粘 (小)・川のよどみ
の白色ブロックを微量
含む。
3層 黑褐色土 10YR3/1 砂・川のよどみの白色
ブロックを少量含む。
4層 棕褐色土 10YR4/2 砂・砂 (小) 層。
5層 黑色土 10YR2/1 粘 (小)・少量含む。
6層 黑褐色土 10YR2/2 砂 (小)・砂を多量含む。
7層 黑色土 10YR1.7/1 黏い、砂 (小) を含む。
8層 棕褐色土 10YR4/4 壁面の刷毛層。
9層 黑褐色土 7.5YR3/1 粘分の多い砂・砂の層。

遺物観察表

第2表 赤座垣外遺跡出土石器観察表

辨認番号	器種	石質	法量(cm)			出土遺構	備考
			長さ	幅	厚さ		
13-1	砥石	花崗岩	8.7	5.0	2.7	H4号住居址	
21-1	砥石	砂質粘板岩	〈4.2〉	2.6	1.4	H7号住居址	
25-1	敲石	輝石安山岩	16.8	7.0	3.8	H10号住居址	
46-1	台状砥石	安山岩	〈13.1〉	〈11.0〉	5.0	H16号住居址	
64-1	砥石	安山岩	9.7	4.4	3.3	D5号土坑	
85-1	石縫	灰色チャート	2.95	〈1.45〉		M11号溝状遺構	状深0.65cm

第3表 H1号住居址出土土器観察表

掘出番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
5-1	須恵器	杯	14.0 6.3 3.7	完形	ロクロナダ→底部回転糸切り	胎土 密 焼成 色調 内白色粒子を含む 良好 内2.5Y2/1(黒色) 外5Y7/1(灰白色)	
5-2	須恵器	杯	14.0 6.7 4.0	口盤2/4 底部完形	ココナダ→底部回転糸切り	胎土 密 焼成 色調 内白色粒子を含む 良好 3Y7/1(灰白色)	
5-3	須恵器	杯	14.4 6.3 4.1	口縁2/2 底部完形	ロクロナダ→底部回転糸切り	胎土 密 焼成 色調 内白色粒子を含む 良好 2.5Y2/1(黒色)	
5-4	須恵器	杯	(13.6) (5.2) 4.0	口縁一部 底部1/2	ロクロナダ→底部回転糸切り	胎土 密 焼成 色調 内白色粒子・石英粒含む 良好 3Y5/1(灰黑色)	火だすきあり
5-5	須恵器	杯	(13.8) (5.7) 4.1	口縁~底 部1/2	ロクロナダ→底部回転糸切り	胎土 密 焼成 色調 内白色粒子・黑色粒子含む 良好 2.5Y6/2(灰黄色)	
5-6	須恵器	杯	(14.7) (7.2) 3.7	口縁~底 部1/2	ココナダ→底部回転糸切り	胎土 密 焼成 色調 内白色粒子を含む 良好 3Y3/1-7/1(オリーブ黒 色・深灰色)	
5-7	須恵器	杯	5.9 (1.1)	底部完形	ロクロナダ→底部回転糸切り	胎土 密 焼成 色調 内白色粒子を含む 良好 2.5Y5/1(オリーブ灰黑色)	
5-8	土器	杯	(16.0) (6.0) 4.5	口縁1/2 底部1/4	ココナダ→底部回転糸切り 内面ヘラミガキ後墨色处理	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 内10YR1.7/1(墨色) 外7.5YR6/6(褐色)	
5-9	土器	杯	(15.2) 7.3 3.6	口縁1/8 底部完形	ロクロナダ→底部回転糸切り 高台貼付・内面ヘラミガキ後墨色处理	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 内10YR1.7/1(墨色) 外7.5YR6/4(にじい褐色)	
5-10	土器	杯	(14.6) 底部1/2 (6.2) 5.4	口縁1/4 底部1/2	ココナダ→底部回転糸切り 内面ヘラミガキ後墨色处理	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 内10YR1.7/1(墨色) 外7.5YR5/6(褐色)	口唇部の剥離が著しい。
5-11	土器	杯	(12.2) (5.0) 4.8	口縁~底 部1/2	ロクロナダ→内面ヘラミガキ後墨色处理	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 内10YR1.7/1(墨色) 外7.5YR6/6(褐色)	外面全体に墨書きあり(人) 口唇部の剥離著しい。
5-12	土器	杯	(15.4) 5.4 4.9	口縁1/6 底部完形	ロクロナダ→底部回転糸切り 内面ヘラミガキ後墨色处理	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 内10YR1.7/1(墨色) 外7.5YR7/4(にじい褐色)	
5-13	土器	甕	(21.0) (5.5)	口縁1/4 底部1/2	ココナダ→内面底部ヘラミ・外側底部ヘラミ 内面ヘラミガキ後墨色处理	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 内10YR1.7/1(墨色) 外7.5YR5/6(明赤褐色)	
5-14	土器	甕	(20.0) (4.6)	口縁1/4	ココナダ	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 5YR6/4(にじい褐色)	
5-15	須恵器	甕	- 7.3 (7.9)	底部完形	ロクロナダ→底部切り崩し・高台貼付	胎土 密 焼成 良好 内白色粒子を含む 色調 N4/0(灰)	

第4表 II2号住居址出土上器観察表

掘出番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
7-1	土器	杯	(6.4) (3.0)	底部2/3	ココナダ→底部回転糸切り 内面ヘラミガキ後墨色处理	胎土 砂粒・石英を含む 焼成 良好 内7.5YR4/2(灰褐色) 外7.5YR6/4(にじい褐色)	
7-2	土器	杯	(8.0) (1.6)	高台1/2		胎土 砂粒を含む 焼成 良好 10YR4/2(灰褐色)	
7-3	土器	小形甕	6.2 (3.4)	底部完形	ロクロナダ→底部回転糸切り	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 7.5YR5/4(にじい褐色)	底盤形状は高台状である。

第5表 H 3号住居址出土土器観察表

探査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
9-1	土器	环	(14.0) (5.2) 4.1	口縁1/3 底盛2/3	コクニナダ-底部回転糸切り→内面縦文状ヘラミガキ(十字)後黒色処理	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 内10YR1.7/1(黑色) 外7.5YR5/3(にじい褐色)	
9-2	土器	环	6.0 <1.6	底部5/6	コクニナダ-底部回転糸切り→内面縦文状ヘラミガキ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 内10YR3.2(銀褐色) 外7.5YR4.2(灰褐色)	
9-3	土器	壺	- (3.0)	底部充て	内面ナダ-外面ヘラケズリ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 内2.5YR3/2(暗赤褐色) 外2.5YR6/4(にじい褐色)	
10-4	土器	小形壺	6.0 (2.6)	底部充て	コクニナダ-底部切り離し後手持もヘラケズリ、内面黒色処理	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 7.5YR5/3(にじい褐色)	
10-5	土器	壺	(21.4) (18.8)	口縁1/4 瓶1/4	コクニナダ-内面側面下平ヘラナダ-外側側面下平ヘラケズリ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 内7.5YR6/4(にじい褐色) 外7.5YR7/4(にじい褐色)	
10-6	土器	壺	(21.8) (9.8)	口縁~瓶 瓶1/4	コクニナダ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 5YR5/4(にじい褐色)	H5 1層の遺物 と接合
10-7	土器	小形壺	13.8 - (12.7)	口縁3/4	コクニナダ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 内5YR6/6(褐色) 外2.5YR6/6(褐色)	

第6表 H 4号住居址出土土器観察表

探査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
12-1	土器	环	- 5.3 (1.3)	底部充て	コクニナダ-底部回転糸切り→内面縦文状ヘラミガキ(十字)後黒色処理	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 5YR5/4(にじい褐色)	
12-2	土器	环	(12.4) (6.2) 4.1	口縁~底 瓶1/3	コクニナダ-底部回転糸切り	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 7.5YR5/4(にじい褐色)	H5 1層の遺物と接合
14-3	土器	壺	(22.0) (12.4) (23.2)	口縁1/4 瓶1/3	コクニナダ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 2.5YR4/4(にじい赤褐色)	
14-4	土器	壺	(6.0)	口縁1/3	コクニナダ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 7.5YR7/6(褐色)	

第7表 H 5号住居址出土土器観察表

探査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
16-1	土器	环	(14.0) -- 5.0	底部充て 底部充て	内面ナダ-山巒コクニナダ後ヘラミガキ-外側体部へ底部へヘラケズリ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 7.5YR5/2(褐色)	
16-2	土器	环	(13.4) -- 4.5	口縁~底 瓶1/2	内面ナダ-山巒コクニナダ-外側本底へヘラケズリ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 7.5YR6/4(にじい褐色)	
16-3	土器	环	(15.6) (4.9)	口縁1/2	コクニナダ-内面ヘラミガキ後黒色処理	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 内10YR1.7/1(黑色) 外5YR4/3(にじい赤褐色)	
16-4	土器	环	- (4.2)	底部1/2	内面底部へラナダ-体部へラミガキ-外側ヘラミガキ-外側ヘラケズリ	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 内5YR5/2(にじい褐色) 外10YR5/3(にじい青褐色)	
16-5	土器	环	(12.5) (4.8) 4.6	口縁1/4 底部充て	コクニナダ-底部回転糸切り-内面縦文状ヘラミガキ(二字)後黒色処理	胎土 焼成 色調 砂粒を含む 良好 内10YR1.7/1(黑色) 外7.5YR7/6(褐色)	

16-6	十郎器	环	13.0 7.3 3.3	底部完形	クロナデー底部回転系切り・ 高台貼付・内面繪文状・ラミガ キ後黑色處理	砂粒を含む 良好 色調 内10YR1.7/1(黒色) 外7.5YR4.3(褐色)	
16-7	土器器	环	— 6.0 (3.0)	底部完形	クロナデー底部回転系切り・ 高台貼付・内面ヘラミガキ後黑色 處理	砂粒を含む 良好 色調 内10YR1.7/1(黒色) 外7.5YR4.3(にぶい褐色)	
16-8	土器器	環	(21.8) (9.8)	II種L/4	クロナデ	砂粒を含む 良好 色調 5YR5.4(にぶい褐色)	H3-I区床-1 溝の遺物と被合

第8表 II 6号住居址出土土器觀察表

探査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
16-1	土器器	环	(12.7) — (8.2)	口縁～体 部L/4	内面ナデー口縁ヨコナゲ・外面 体部ヘラケズリ→内面ヘラミガキ	砂粒を含む 良好 色調 3YR6.4(にぶい褐色)	

第9表 II 7号住居址出土土器觀察表

探査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
20-1	須恵器	环	13.4 7.4 3.8	口縁2/4 底部完形	クロナデー底部回転系切り	砂土・白・白色粒子を含む 焼成 良好 色調 (灰白色)	
20-2	須恵器	环	13.8 7.0 4.1	口縁2/3 底部完形	クロナデー底部回転系切り	砂土・白・白色粒子を含む 焼成 良好 色調 (灰白色)	
20-3	須恵器	环	(13.8) 8.1 3.8	口縁1/3 底部完形	クロナデー底部回転系切り	砂土・白・白色粒子を含む 焼成 良好 色調 (灰白色)	
20-4	須恵器	环	13.7 6.0 3.6	口縁2/3 底部完形	クロナデー底部回転系切り	砂土・白・白色粒子・黑色粒子を 含む 焼成 良好 色調 2.5Y7.1(灰白色)	
20-5	須恵器	环	— 6.7 (1.5)	底部完形	クロナデー底部回転系切り	砂土・白・白色粒子を含む 焼成 良好 色調 7.5YR8.2(灰白色)	
20-6	須恵器	环	(10.8) 7.2 4.6	口縁1/4 底部完形	クロナデー・底部切り離し後 軸ヘラケズリ→高台貼付	砂土・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 内NS4.0(灰色) 外N3.0(褐色)	外面に自然粘付着
20-7	須恵器	环	(14.0) (5.6) 4.1	口縁～底 部L/4	クロナデー・底部回転系切り	砂土・白色粒子を含む 焼成 良好 色調 7.5YR8.1(褐色)	火だ下さりあり
20-8	須恵器	四耳壺	— —	—	クロナデー・外回タマキ(平 行)・内面當て長窓(灰心円) →外面に隆起貼付	砂土・白 焼成 良好 色調 内2.5Y8.3(灰黄色) 外2.5Y5.1(黃灰色)	

第10表 II 8号住居址出土土器觀察表

探査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
23-1	十郎器	环	(13.0) 5.2 3.8	II種L/6 底部完形	クロナデー・底部切り離し後 軸ヘラケズリ→高台貼付	砂粒を含む 良好 色調 内10YR1.7/1(黒色) 外7.5YR5.4(にぶい褐色)	

第11表 H 10号住居址川土土器觀察表

探査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
27-1	須恵器	环	(15.4) 9.7 6.2	II種～底 部L/2	クロナデー・底部・軸ヘラケズリ後 軸ヘラケズリ→高台貼付	砂粒を含む 良好 色調 10YR4.1(褐色)	外面に自然粘付着
27-2	須恵器	环	15.7 9.4 7.0	口縁1/2 底部完形	クロナデー・底部切り離し後 軸ヘラケズリ→高台貼付	砂粒を含む 良好 色調 5Y5.1(灰色)	

29-3	土器器	要	-	底部完形・内面ヘラナデ・外面胴部～底部ヘラケズリ	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 内2.5YR5/6 (稍赤褐色) 外2.5YR6/6 (微色)		
29-4	上部器	要	(4.9) (6.1) (21.8) (4.0) 28.0	i) 縦1/3 ii) 縦ヨコナデ・内面胴部～底部ヘラナデ・外面胴部～底部ヘラケズリ	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 内2.5YR5/4 (にぶい赤褐色) 外2.5YR6/4 (にぶい褐色)		
29-5	下部器	要	(20.4) (4.5) 26.2	口縦1/4	口縦ヨコナデ・内面胴部～底部ヘラナデ・外面胴部～底部ヘラケズリ	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 内2.5YR6/4 (にぶい褐色) 外5YR6/4 (にぶい褐色)	
29-6	土器器	要	- <10.3>	i) 縦1/4	ii) 縦ヨコナデ・内面胴部～底部ヘラナデ・外面胴部～底部ヘラケズリ	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 内2.5YR5/4 (にぶい赤褐色) 外2.5YR6/6 (褐色)	
30-7	下部器	要	(23.6) <10.3>	i) 縦1/4	ii) 縦ヨコナデ・内面胴部～底部ヘラナデ・外面胴部～底部ヘラケズリ	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 内5YR5/4 (にぶい赤褐色) 外7.5YR7/4 (にぶい褐色)	
30-8	須恵器	要	-- (11.2) (18.6)	底部1/3	外面胴部タタキ (平行)・下部 凹輪ヘラケズリ・内面当て具痕 ・下部ナダ	胎土 燒成 色調	帶、黒色粒の溶出あり 良好 内N5/0 (灰褐色) 外10YR4/1 (黄褐色)	外面に自然釉付着
30-9	須恵器	要	- --	底部一部	外面胴部タタキ (平行) 後部分 的にナダ・下部ヘラケズリ・内 面当て具痕・部分的にナダ	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 内5P6/1 (紫灰色) 外5PB4/1 (暗青灰色)	自然釉付着

第12表 H11号住居址出土土器観察表

種類番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考	
33-1	下部器	环	8.2 6.0	口縦2/3 底部心形	口縦ヨコナデ・内面全体へラケズ リ・外面全体へラミガキ後黑色處理	胎土 燒成 色調	少白色粒子・砂粒を含む 良好 内10YR1.7/1 (黑色) 外7.5YR7.3 (にぶい褐色)	
33-2	上部器	环	(11.4) -- (5.9)	i) 縦1/5	ii) 縦ヨコナデ・ハラミガキ後黑 色處理・外面ヨコヨコナデ・体 部ヘラケズリヘラミガキ	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 内10YR1.7/1 (黑色) 外7.5YR7/3 (にぶい褐色)	

第13表 II12号住居址出土土器観察表

種類番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考	
36-1	須恵器	环	(14.2) (9.9) 3.4	口縦～底 部1/3	ロクロナダ～底部更に離し後手 持ちヘラケズリ	胎土 燒成 色調	白色粒子・黑色粒子を含む 良好 10Y8/1 (触状色)	火だすきあり
36-2	上部器	小形器	(12.4)	口縦2/3	ロクロヨコナデ・内面胴部ヘラナ デ・外面胴部ヘラケズリ	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 内2.5YR6/6 (褐色) 外5YR6/4 (にぶい褐色)	

第14表 H13号住居址出土土器観察表

種類番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考	
40-1	須恵器	环	13.0 7.2 4.0	は接先部	ロクロナダ～底部回転糸切り	胎土 燒成 色調	砂粒を含む 良好 N7/0 (灰白色)	
40-2	須恵器	环	14.0 7.4 4.1	接接先部	ロクロナダ～底部回転糸切り	胎土 燒成 色調	白色粒子・黑色粒子を含む 良好 2.5Y7/1 (灰白色)	火だすきあり
40-3	須恵器	环	(14.2) (8.4) 4.1	i) 縦～底 部1/2	ロクロナダ・底部回転糸切り	胎土 燒成 色調	黑色粒子・白色粒子・砂粒 良好 N8/0 (灰色)	火だすきあり
40-4	須恵器	着	(15.8) (1.6)	口縦1/6	ロクロナダ	胎土 燒成 色調	白色粒子を含む 良好 10B4/1 (暗青灰色)	

40-5	土器器	甕	(21.6) (7.5)	口縁ヨコナデ・内面脚部ナデ・ 外周脚部ヘラケズリ	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 色調 5 YR 6/8 (橙色)	
------	-----	---	-----------------	-----------------------------	---------------------------------------	--

第15表 H15号住居址出土土器觀察表

辨認番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
43-1	須恵器	甕	— (9.7) (4.1)	底部1/2	ロクロナデ→底部回転糸切り→ 高台貼付	胎土 白色粒子・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 N 6/0 (灰色)	

第16表 H16号住居址出土上土器觀察表

辨認番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
45-1	須恵器	甕	(12.7) (7.4) 3.4	口縁1/4	ロクロナデ→底部切り離し後子 持ちヘラケズリ	胎土 白色粒子・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 N 5/0 (灰色)	
45-2	土器器	甕	(14.4) (8.0) 3.9	底部1/2	口縁ヨコナデ・内面底部ナデ・ 外周切迹・底部ヘラケズリ→内 向環文状ヘラミガキ (口縁破缺 状、底高らせん状)	胎土 砂粒を少量含む 焼成 良好 色調 5 YR 7/6 (褐色)	

第17表 H17号B住居址出土上土器觀察表

辨認番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
49-1	須恵器	甕	13.1 6.7 3.9	柱状充形	ロクロナデ→底部回転ヘラ切り	胎土 白色粒子・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 2.5 Y 8/1 (灰白色)	
49-2	須恵器	甕	(14.6) 9.3 3.1	口縁1/3 底部3/4	ロクロナデ→底部回転糸切り→ 底部外周回転ヘラケズリ	胎土 白色粒子・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 N 5/0 (灰色)	

第18表 H18号住居址出土上土器觀察表

辨認番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
52-1	須恵器	甕	— — —	底片	外周タタキ・内面ナデ	胎土 白色粒子・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 N 6/0 (灰色)	

第19表 D 1号土坑出土上土器觀察表

辨認番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
60-1	須恵器	甕	14.5 6.4 3.9	柱状充形	ロクロナデ→底部回転糸切り	胎土 白色粒子・黑色粒子・砂粒 焼成 良好 色調 N 7/0 (灰白色)	

第20表 D 6号土坑出土上土器觀察表

辨認番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
65-1	須恵器	甕	(14.2) (7.6) 4.4	口縁1/6 底部1/2	ロクロナデ→底部回転糸切り	胎土 白色粒子を含む 焼成 良好 色調 7.5 Y 8/1 (灰色)	火だすきあり
65-2	須恵器	甕	(7.8) (1.6)	底部1/4	ロクロナデ→底部回転糸切り	胎土 白色粒子・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 5 Y 8/1 (灰色)	
65-3	土器器	甕	(12.1) 7.9 4.1	口縁1/3 底部充形	ロクロナデ→底部切り離し後子 持ちヘラケズリ・内面ヘラミガ キ (底板黒色化粧)	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 色調 10 Y R 1.7/1 (黒色) 外7.5 Y R 8/4 (にじみ褐色)	

66-4	須恵器	要	一 (8.0)	破片	口縁へ彫墨ヨクコナデ・外面削 痕タタキ(平行)・内面削部ナ デ	胎土 白色粒子を含む 焼成 良好 色調 N5.0(灰色)	
66-5	須恵器	鉢	一 (2.2)	破片	内面ヨクコナデ・外面底部へ外 縁ヘラケズリ	胎土 白色粒子・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 7.5Y6/1(灰白色)	
66-6	須恵器	要	一 (12.0)	底芯1/4	外面タタキ(平行)・内面ヘラ ケズリ	胎土 白色粒子を含む 焼成 良好 色調 N6.0(灰色)	

第21表 D 7号土坑出土土器觀察表

検査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
66-1	須恵器	杯	(13.8) 6.4 4.0	口縁1/8 底芯3/4	ヨクコナデ・底部回転系切り	胎土 白色粒子・黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 7.5Y6/1(灰色)	次だすきあり
66-2	須恵器	要	— (8.2)	底部1/4	外面削痕タタキ(平行)・底芯 外周手持ちヘラケズリ・内面ナ デ	胎土 白色粒子・砂粒を含む 焼成 良好 色調 N3.0(暗灰色)	自然釉付着

第22表 D 8号土坑出土土器觀察表

検査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
70-1	須恵器	杯	(8.4) (1.0)	底芯1/2	ヨクコナデ・底芯切り離し後回 転ヘラケズリ	胎土 密、白色粒子・黑色粒子 焼成 良好 色調 10B 04/1(暗青灰色)	

第23表 M 5号溝状遺構出土上器觀察表

検査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
80-1	陶文	深鉢	—	破片	内面ヘラミガキ・外面ヘラミガ キ及び無鉛充填陶文	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 色調 7.5YR7/3(にじい褐色)	

第24表 グリッド・トレント出土土器觀察表

検査番号	種別	器形	法量	残存	成形・調整	胎土・焼成・色調	備考
88-1	土師器	杯	(13.7) (5.4) 4.2	口縁1/4 底芯完形	ヨクコナデ・底部回転系切り→ 内面磨痕状ヘラミガキ(十字) 後黒色處理	胎土 白色粒子を含む 焼成 良好 色調 内10YR1.7/1(黒色) 外2.5YR6/5(橙色)	外面に墨書きあり (財) き-14G
88-2	土師器	杯	12.6 6.3 4.5	完形	ヨクコナデ・底部回転系切り→ 内面黒色處理	胎土 白色粒子を含む 焼成 良好 色調 内10YR1.7/1(黒色) 外5YR6/6(橙色)	か 12G
88-3	土師器	杯	(13.4) — (4.5)	口縁1/3	内面ナデ・口縁ヨクコナデ・外 部ナデ後ヘラケズリ	胎土 敷小の砂粒を少數含む 焼成 良好 色調 2.5YR5/6(明赤褐色)	か 7G
88-4	土師器	杯	(13.6) (7.4) 4.1	口縁1/4	ヨクコナデ・底部回転系切り→ 内面磨痕状ヘラミガキ後黒色處 理	胎土 砂粒を含む 焼成 良好 色調 内10YR1.7/1(黒色) 外7.5YR6/6(橙色)	F 2-1シングル
88-5	須恵器	鉢	— (1.2)	破片	ヨクコナデ・底部回転ヘラ切り 後ナデ	胎土 黑色粒子を含む 焼成 良好 色調 7.5Y7/1(灰白色)	外面底部にヘラ印 あり D 1シングル

写 真 図 版



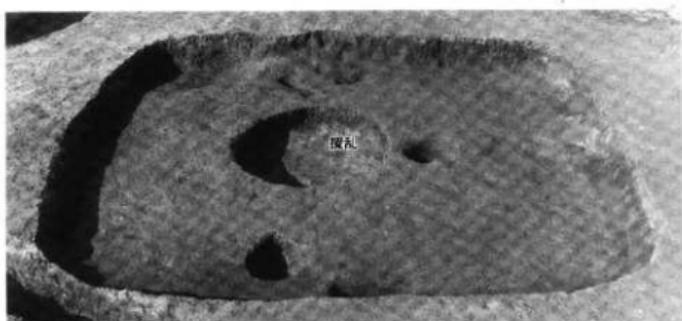
赤座ダム外遺跡航空写真



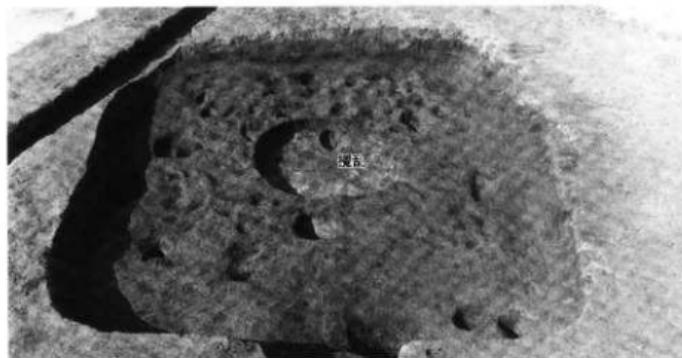
1 赤座城外遺跡近景 (H5・6付近、東方より)



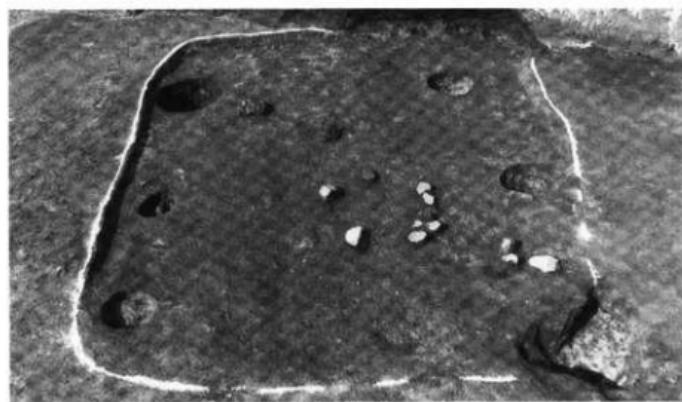
2 赤座城外遺跡近景 (D6・7付近、南東より)



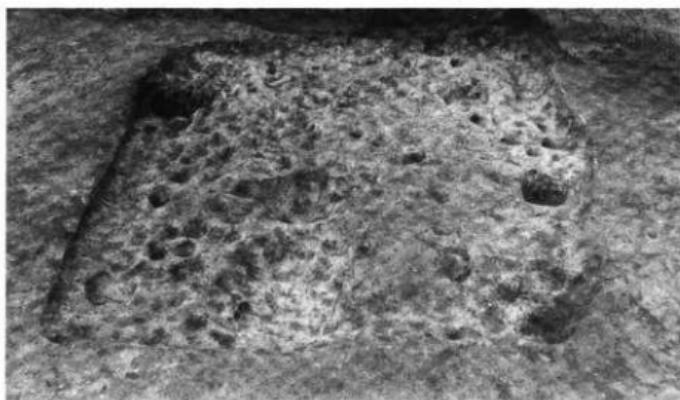
1 H1号住居址（南方より）



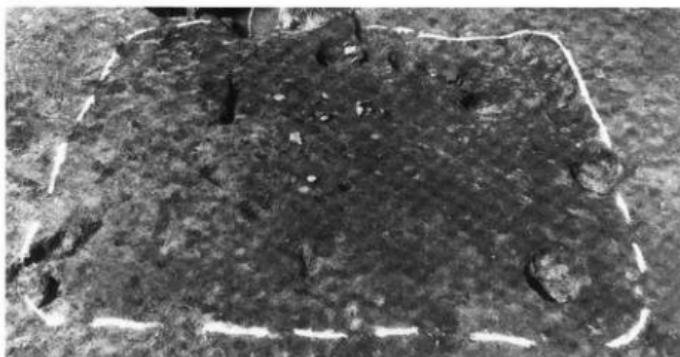
2 H1号住居址掘り方（東方より）



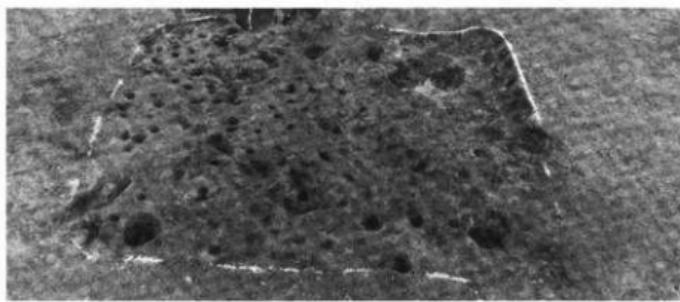
3 H2号住居址（南方より）



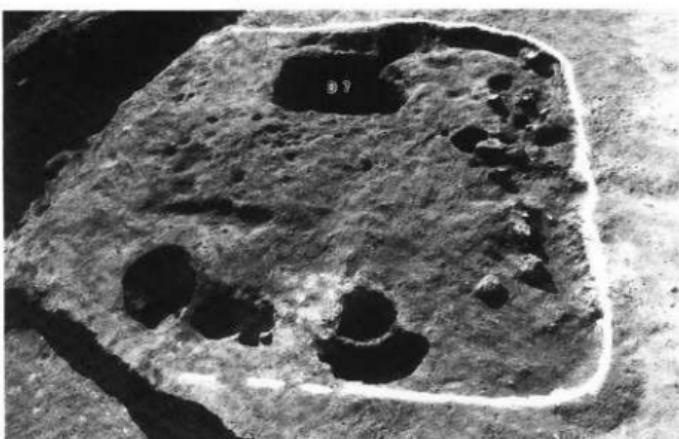
1 H2号住居址掘り方（南方より）



2 H3号住居址（南方より）



3 H3号住居址掘り方（南方より）



1 H4号住居址（東方より）



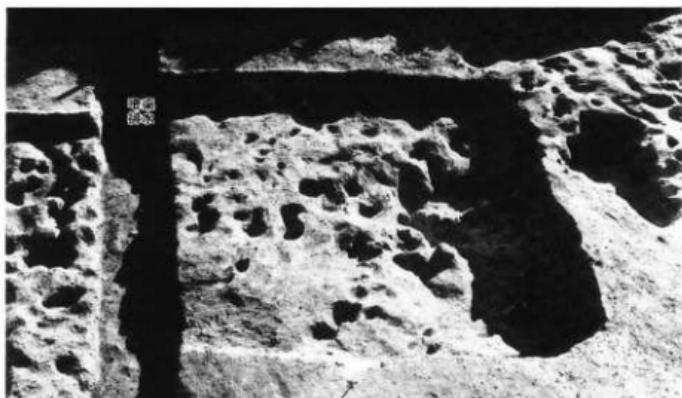
2 H4号住居址（北方より）



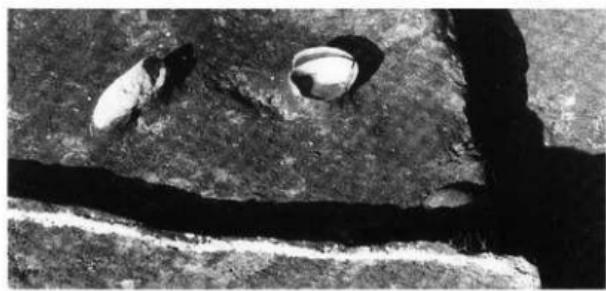
3 H4号住居址遺物出土状況（南方より）



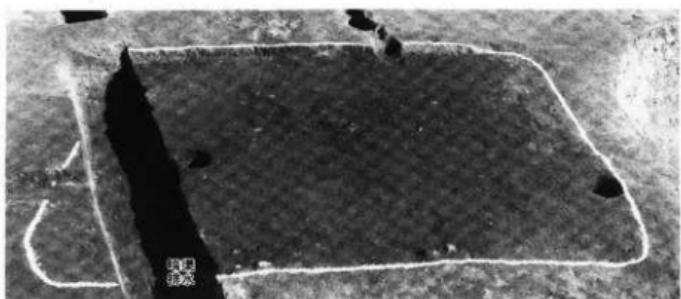
1 H5号住居址（南方より）



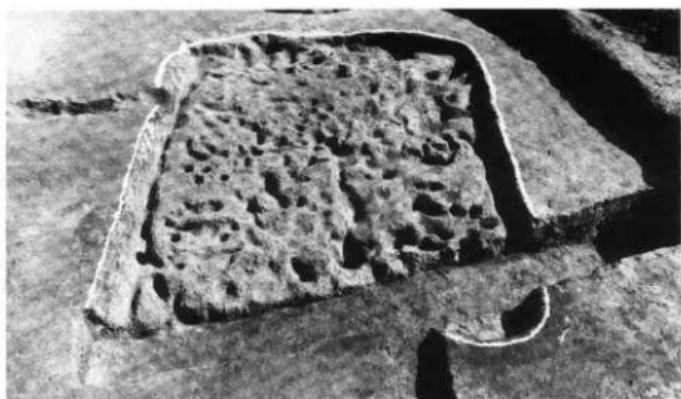
2 H5号住居址掘り方（北方より）



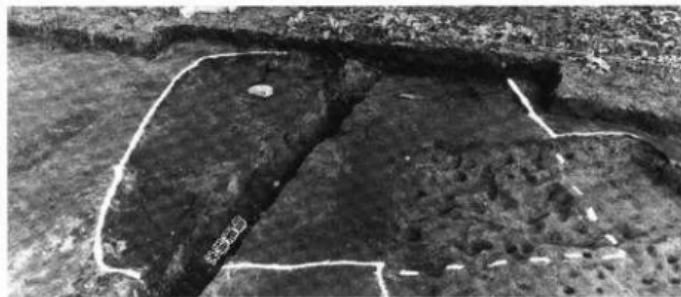
3 H5号住居址遺物出土状況（南方より）



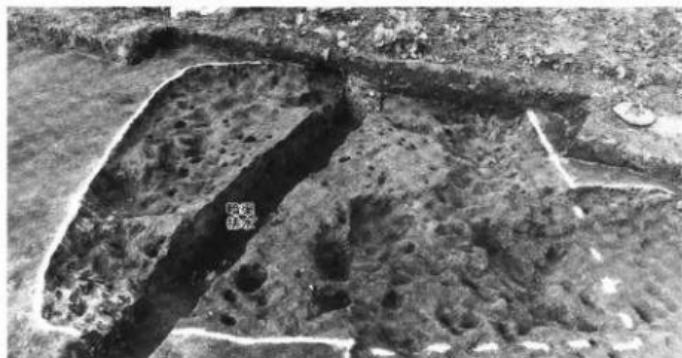
1 H6号住居址（南方より）



2 H6号住居址掘り方（西方より）



3 H7号住居址（南方より）



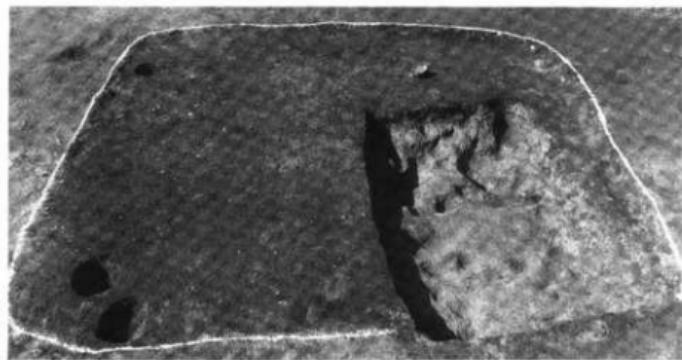
1 H7号住居址掘り方（南方より）



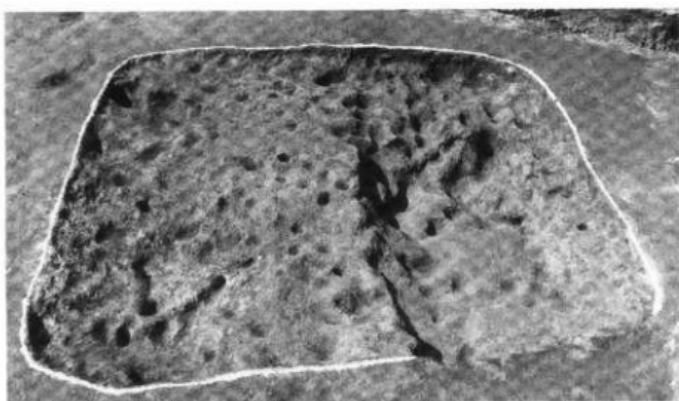
2 H7号住居址礫石検出状況（東方より）



3 赤座垣外遺跡スナップ



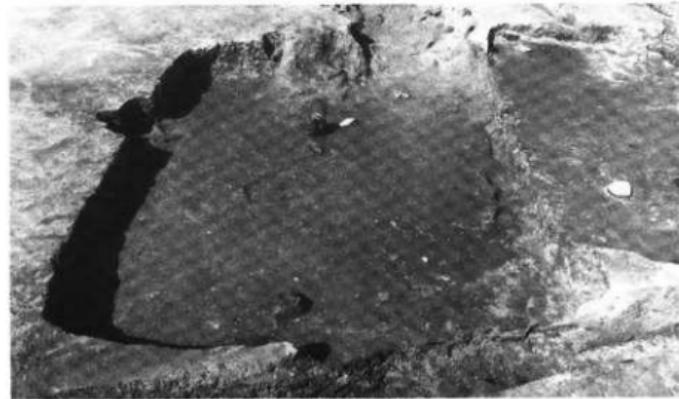
4 H8号住居址（南方より）



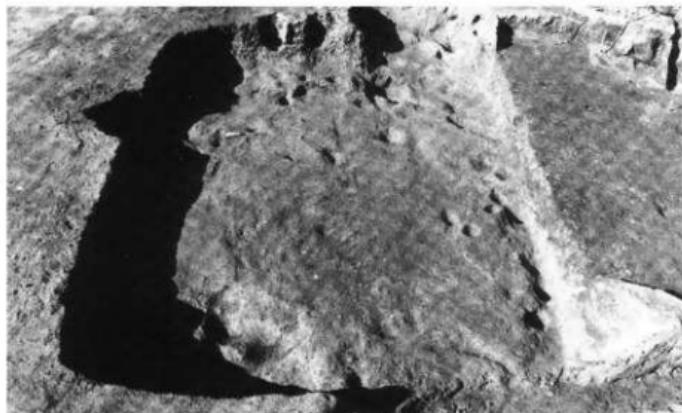
1 H8号住居址掘り方（南方より）



2 H9号住居址（北西より）



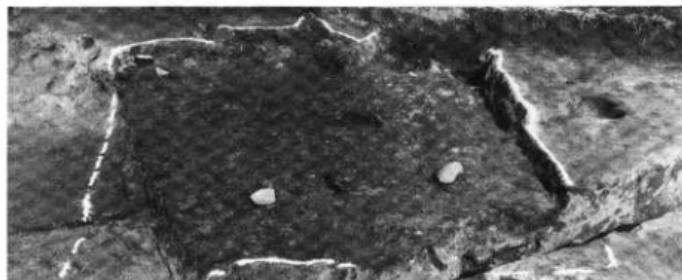
3 H10号住居址（東方より）



1 H10号住居址掘り方（東方より）



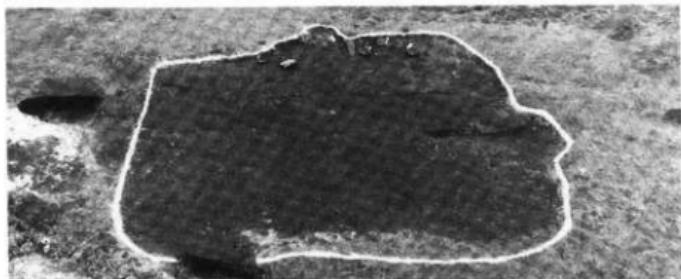
2 H10号住居址カマド（南方より）



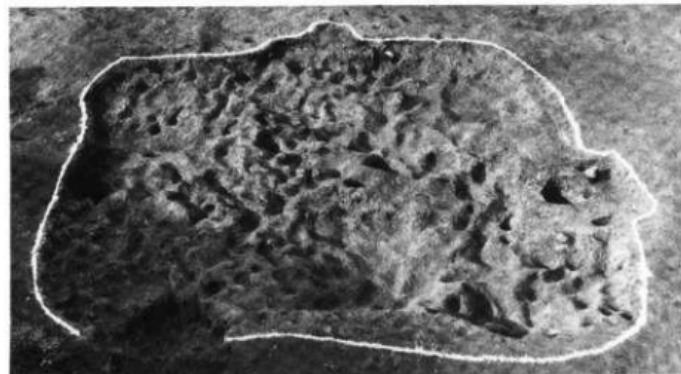
3 H11号住居址（南方より）



1 H12号住居址 (南方より)



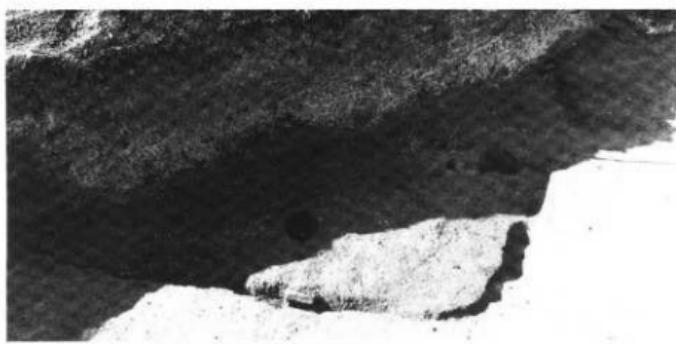
2 H13号住居址 (南方より)



3 H13号住居址掘り方 (南方より)



4 H13号住居址遺物出土状況 (南方より)



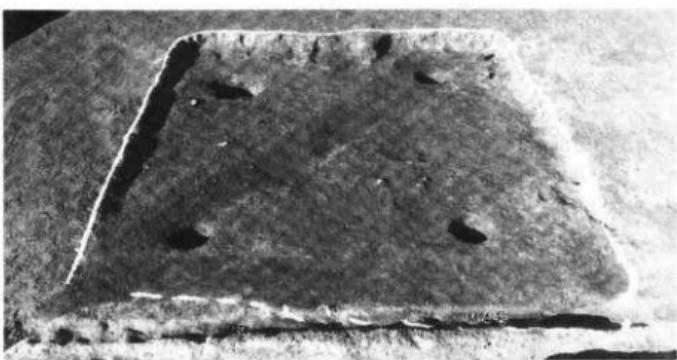
1 H14号住居址（北方より）



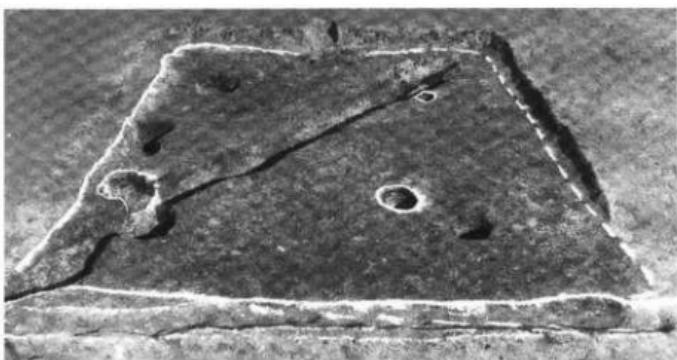
2 H15号住居址（東方より）



3 H16号住居址（東方より）



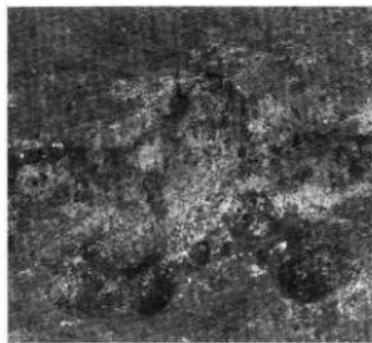
1 H17号B住居址（南方より）



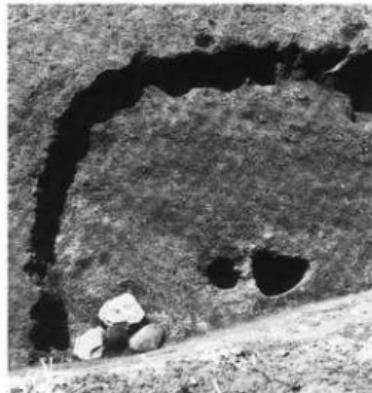
2 H17号A住居址（南方より）



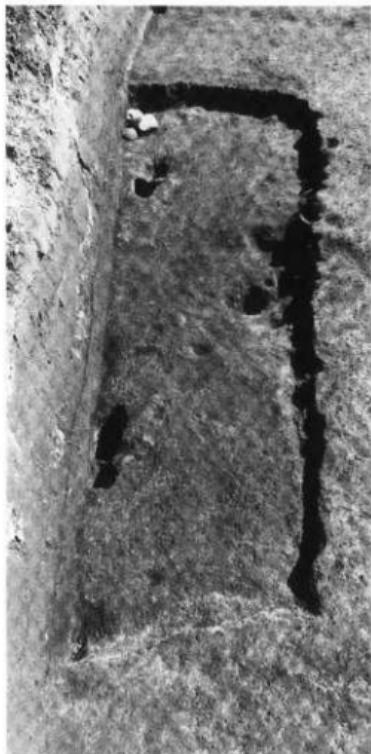
3 H17号A・B住居址掘り方（南方より）



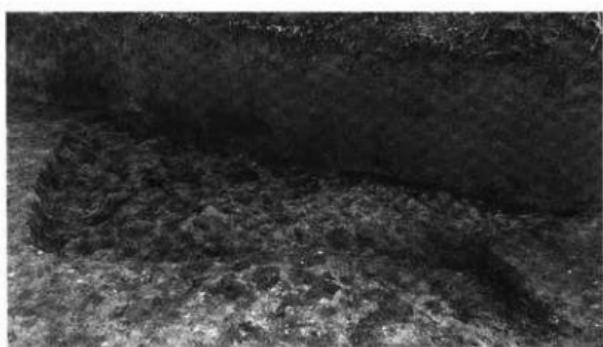
1 H17号B住居址カマド（南方より）



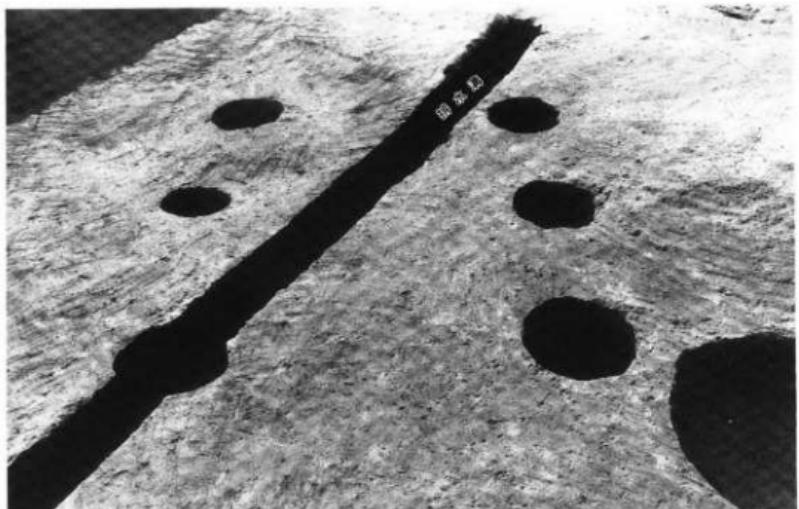
2 H18号住居址遺物出土状況（北方より）



3 H18号住居址（西方より）



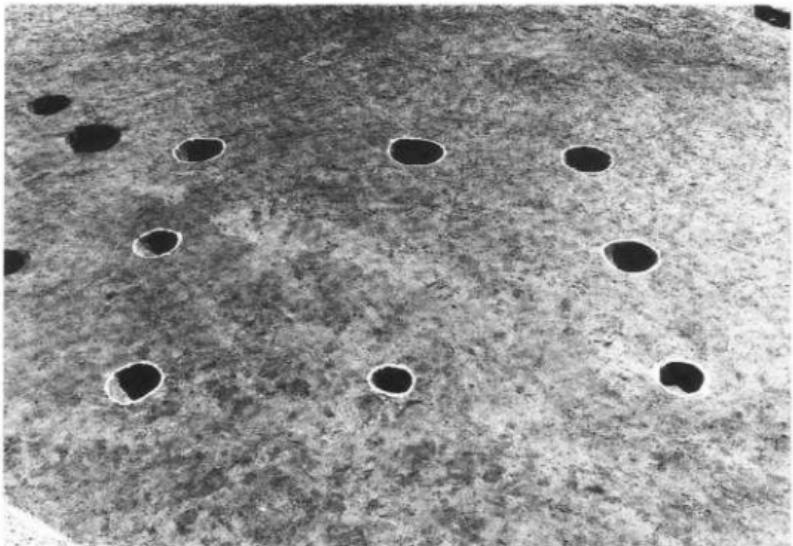
4 H18号住居址掘り方（南方より）



1 F1号振立柱建物址 (西方より)



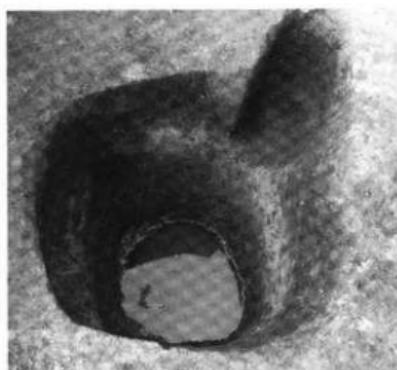
2 F2号振立柱建物址 (西方より)



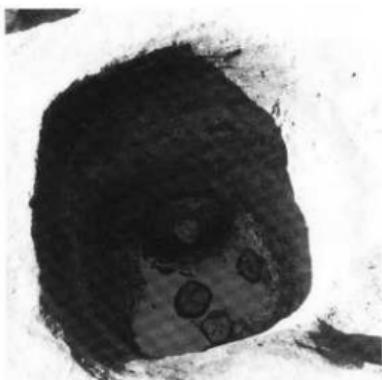
1 F3号掘立柱建物址（北方より）



2 F4号掘立柱建物址（南方より）



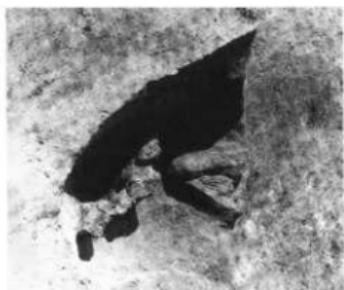
1 D1号土坑



5 D1号土坑遺物出土状況



2 D2号土坑



6 D3号土坑

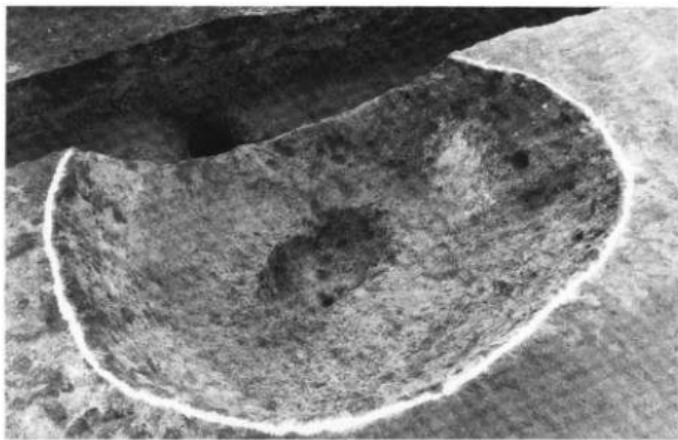


3 D4号土坑



4 D5号土坑

7 D5号土坑



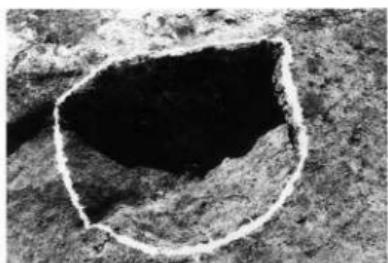
1 D6号土坑



2 D6号土坑遺物出土狀況



3 D7号土坑



1 D10号土坑



2 D14号土坑



3 D9号土坑(粘土坑)



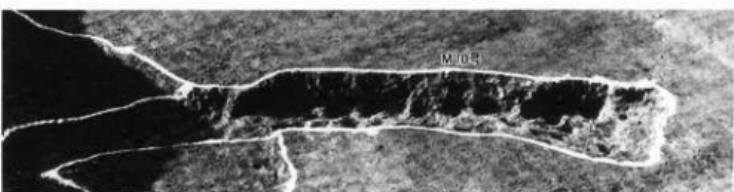
4 赤座垣外遺跡H12・D8・D13号付近近景



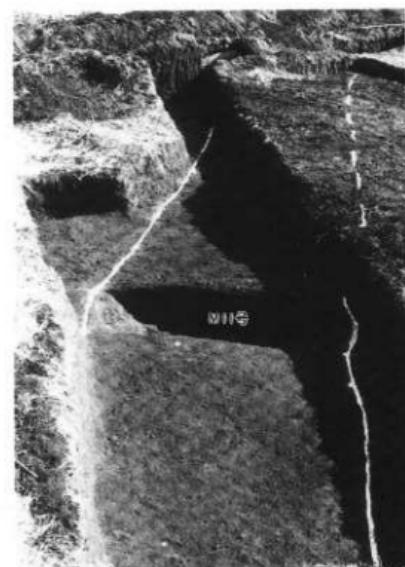
1 MI・2号溝状造構



2 M3・4・6・7号溝状造構



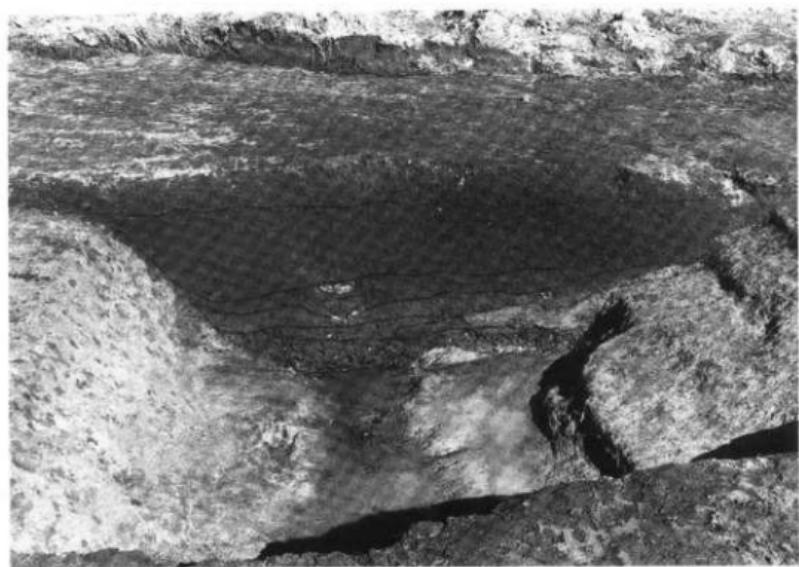
3 M10号溝状造構



1 M11号溝状遺構



2 M11号溝状遺構



3 M13号溝状遺構



H-1 5-1



H-1 5-2



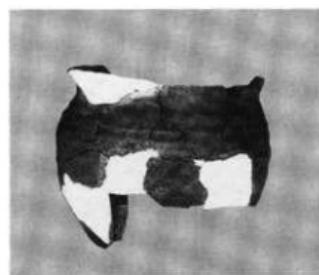
H-1 5-3



H-1 5-9



H-1 5-15



H-3 10-7



H-4 14-3



H-5 16-1



H-5 16-2



H-5 16-6



H-7 20-1



H-7 20-2



H-7 20-4



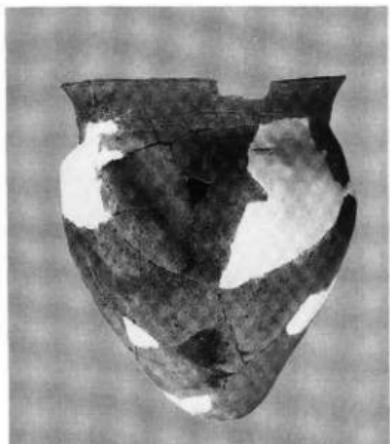
H-7 20-6



H-8 23-1



H-10 29-4



H-10 29-5



H-10 27-1



H-10 27-2



H-11 33-1



H-12 36-2



H-13 40-1



H-13 40-2

図版
二十三



H-17B 49-1



H-17B 49-2



D-1 60-1



D-6 65-1



D-6 65-3



D-7 68-1



グリッド き-14 88-1



グリッド か-12 88-2



D1トレンチ 88-1



黒書土器 グリッド き-14 88-1



M-11 85-1



幾内系暗文 H-16 45-2

- 佐久市埋蔵文化財調査報告書第1集 「金井城跡」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第2集 「市内遺跡発掘調査報告書1980」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第3集 「万治窯址群Ⅱ」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第4集 「大ふげ遺跡」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第5集 「立科下遺跡」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第6集 「上曾根遺跡」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第7集 「三貫窯遺跡」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第8集 「櫛の下遺跡」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第9集 「足道141号関係遺跡」
佐久市埋蔵文化財調査報告書第10集 「空原Ⅱ遺跡」

長野県佐久市

佐久市埋蔵文化財調査報告書第11集

赤座垣外遺跡発掘調査報告書

1992

編集者 佐久市教育委員会

発行者 佐久市教育委員会

印刷所 株式会社 標(いじい)



付図 赤座塚外邊塚全体図 (1 : 400)

